

日本地理全誌 飯島半十郎輯
五

特31

455

冊號架西

第七百四十六號

共五冊

書庫引繼之證

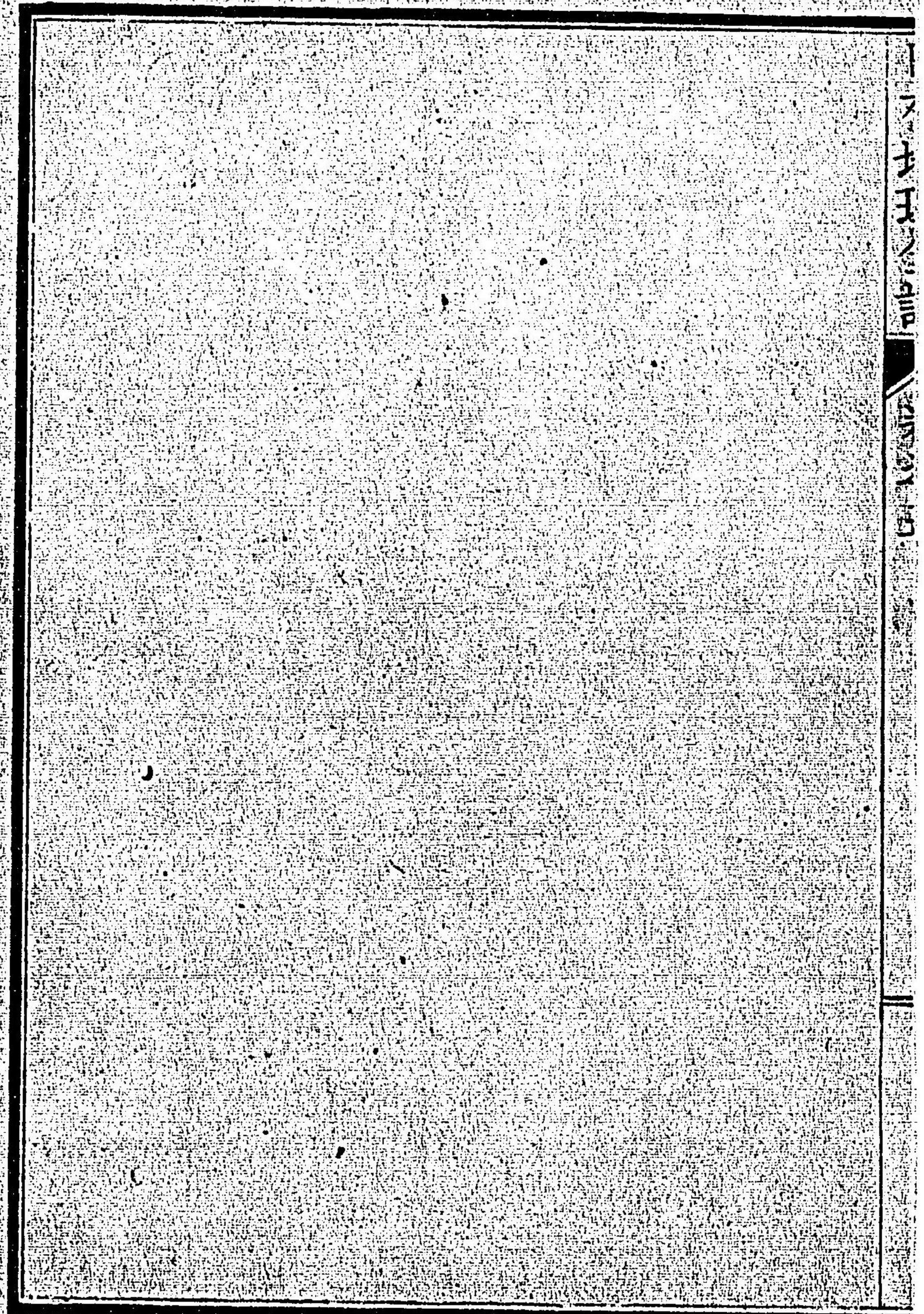
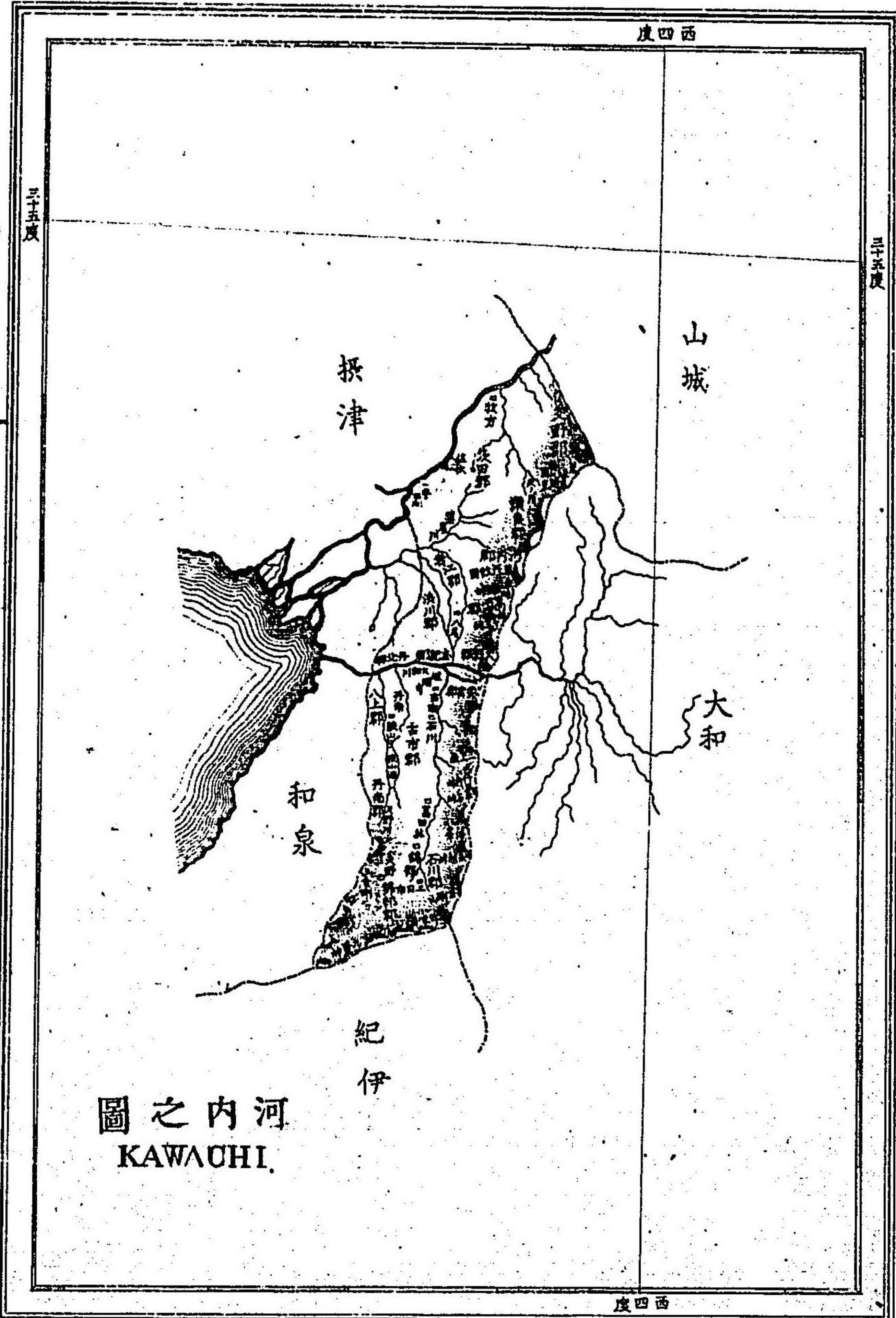
特31

文部省
通學務
圖書山

普
局
章

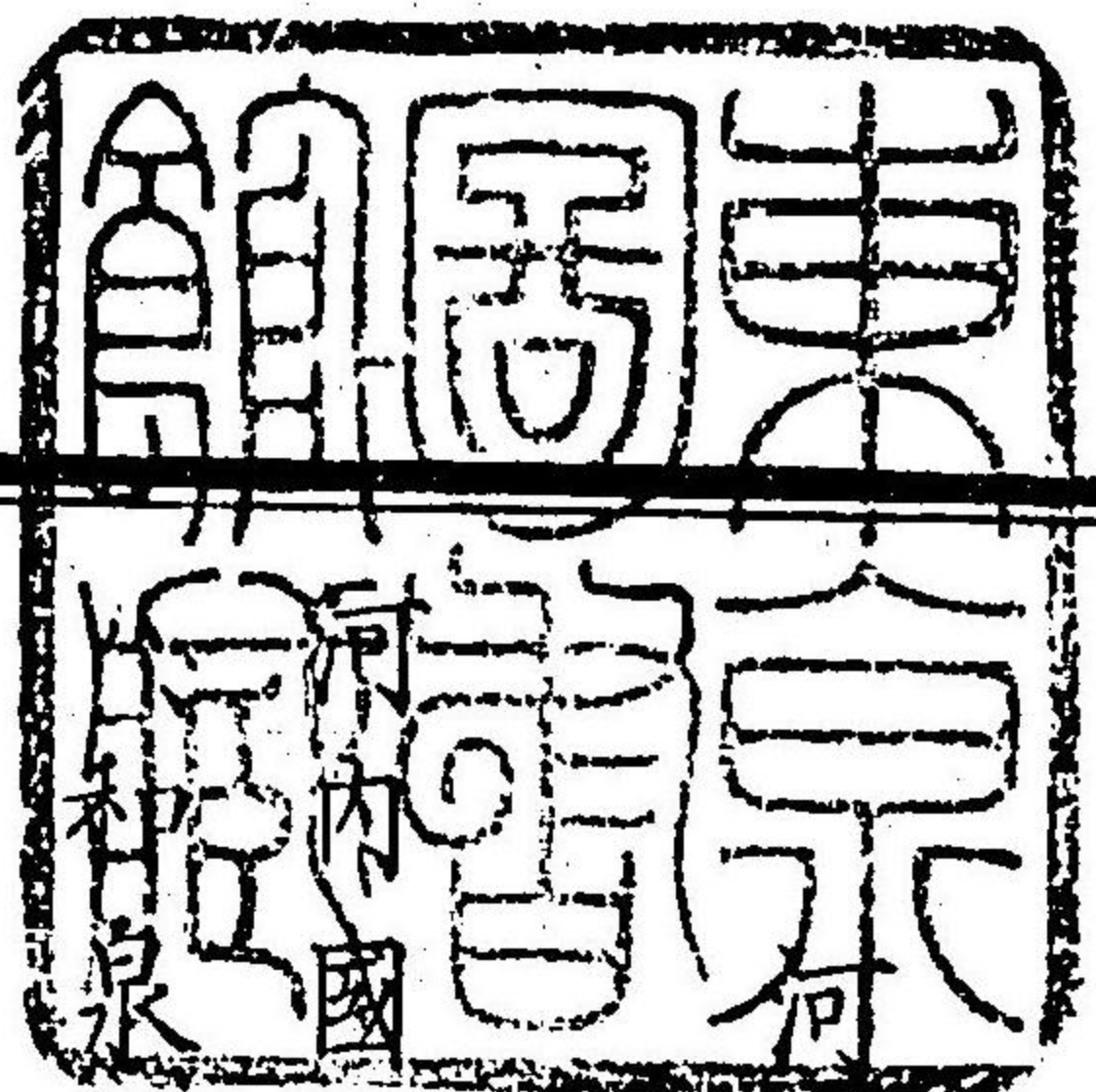


本地理全誌卷之五



河内之圖

日本地理全誌卷之五



内誌
位置

ハ、東ハ大和ニ界シ、南ハ紀伊ニ接シ、西北
攝津、山城ニ連ル、大河此國ノ西北ヲ繞ル
ヲ以テ名クト云ヘリ、此國上古ハ凡河内國ト稱
セシカ、元明天皇ノ時、凡ノ字ヲ削リテ河内トス、
類聚國史ニ、元正天皇靈龜四年、大鳥日根、和泉ノ
三郡ヲ割キテ、和泉國ヲ置クト、初反正天皇此國

ノ丹比ニ都ス、コレヲ柴籬宮ト云フ、後一條天皇ノ時、源賴信此地ニ興リ、東征ノ功アリ、因リテ河内守ニ任セラルル、其子賴義、義家等皆王家ニ功アリ、後醍醐天皇ノ吉野ニ幸スル、楠正成兵ヲ興シテ天皇ヲ奉ス、足利氏ノ時、畠山氏封ヲ此國ニ受ク、後遂ニ織田氏ノ有トナル、天正年間、豊臣氏此ニ布政司ヲ置ク、徳川氏ニ至リテ高木北條ノ小諸侯ヲ封シ、其他ノ地ハ皆堺奉行コレヲ司ル、王政維新ノ後、堺縣ノ所轄トナル、全國十六郡、曰ク錦部、曰ク石川、曰ク古市、曰ク安宿、曰ク大縣、曰ク

高安、曰ク河内、曰ク讚良、曰ク茨田、曰ク交野、曰ク若江、曰ク澁川、曰ク志紀、曰ク丹北、曰ク丹南、曰クハ上、是ナリ、

神社

牧岡神社ハ、官幣大社ノ一ニシテ、河内郡出雲井村ニアリ、祭神四座、曰ク比賣神、曰ク天津兒屋根命、曰ク齋主命、曰ク武甕槌命、例祭ハ、毎年二月一日ナリ、

土地

全國地勢東南ハ、高クシテ、西北ハ、低シ、故ニ土人

國ノ南ヲ上ト云ヒ、國ノ北ヲ下ト云フ、土地膏腴ニシテ五穀豐饒ナリ、風俗ハ柔和ニシテ美麗ヲ好ミ婦人ノ容姿ハ西京ニ似タリ、○錦部郡ハ國ノ南ニアリテ、西南ハ紀伊、和泉ニ隣ル、此郡ノ市場ハ、錦部、三日市、天野等ナリ、天野山金剛寺ハ、僧正行基ノ開基ニシテ古來山水絶景ノ地ト稱ス、後村上天皇此地ニ臨幸アリテ、行宮ヲ造營ス、其南日野村ニ潮瀧アリ、其長三十丈、飛泉塩氣ヲ帶フ、故ニ潮瀧ト名ツク、三日市ハ高野ノ道ニ當リテ旅店多ク此地ノ娼妓其風姿他ニ異ニシテ頗

美麗ナリ、其北ニ烏帽子形ノ城址アリ、蓋山勢烏帽子ニ似タル故ニ名ツク、古昔碓井大和守此ニ據ル、又其傍ニ金胎寺ノ城址アリ、建武年間南軍此ニ據ル、其東觀心寺ニ楠正成ノ墳墓アリ、正成ノ攝州湊川ニ死スル、足利尊氏其精忠ヲ感シテ、首ヲ河内ニ送ル、因リテ此ニ葬ル、土俗首塚ト云フ、正成ハ橘氏後醍醐天皇ノ笠置ニ幸スル夢兆ヲ以テ正成ヲ召ス正成感激シテ、天皇ノ為ニ、干早赤坂ノ二城ヲ築キ、東軍ヲ禦ク、是ニ於テ天下ノ義士沛然トシテ雲ノ如ク起リ、遂ニ元惡ヲ斧

日本地理全書 卷之五
錢ノ下ニ殄戮シ、再日月ノ光ヲ仰クコトヲ得レ
ハ、其後尊氏ノ叛キテ京都ニ逼ル、正成又討チテ
コレヲ西海ニ走ラス、尊氏九州ノ兵ヲ率ヰテ、京
都ニ入ラントスルニ及ヒテ、新田義貞コレヲ禦
キ軍利アラスシテ退ク、因リテ正成ヲシテコレ
ヲ援ケシム、正成策ヲ獻レテ用ヰラレス、遂ニ湊
川ニ戦死ス、其精忠金石ヲ貫ク後世人臣ノ龜鑑
タリ、觀心寺ニ後村上天皇ノ陵アリ、檜尾陵ト云
フ、天皇諱ハ義良後醍醐天皇ノ第九子ナリ、南朝
正平二十四年三月十一日崩ス、陵ハ林中ニアリ

テ上ニ椿樹多シ、南方紀傳ニ、南朝正平二十四年
十月足利官領細川頼之南朝ニ奏聞シテ、南北和
陸ノ事ヲ陳スト雖、公卿武家コレヲ聽カス、當時
南朝ノ地ハ、河内大和和泉紀伊伊賀伊勢志摩飛
驒信濃上野越中越後伊豫備前石見長門肥後日
向大隅薩摩總ヘテ二十國、北國ニハ征東將軍宗
良親王アリ、九州ニハ征西將軍懷良親王アリ、勢
州ニハ國司北畠アリト云ヘリ、當時南朝ノ勢熾
ナルコト此ノ如クナレハ、其和議ヲ聽カサルモ
亦宜ナルカナ、此都ノ西和泉ニ近キ地ニ多ク煙

艸ヲ産ス、世人コレヲ和泉新田煙艸ト云フ。○石川郡ハ國ノ東南ノ隅ニアリテ山岳多ク又城址多シ、千早ト云ヒ、赤坂ト云ヒ、龍泉ト云ヒ、平石ト云ヒ、小根田ト云フ、千早、赤坂ハ皆正成ノ築ク所ニシテ、千早ハ金剛山ノ半腹ニアリ、山勢峩々トシテ城壘深谷ニ臨ミ、當時最要害ノ地ト稱ス、赤坂ハ金剛山ノ麓水分村ノ上ニアリ、關東八十萬ノ兵コレヲ圍ム、天下未應スル者アラズ、正成俵リテ自殺ノ狀ヲナヒ、火ヲ放テテ遁レ去ルト云フ、水分村ハ正成ノ生セレ所ナリ、今其跡ニ大將

軍祠アリ、龍泉ノ城ハ楠正儀和田正武等コレニ據リ、平石ノ城ハ平石右衛門尉コレヲ守リ、小根田ノ城ハ平野將監コレヲ守リ、南朝ニ屬シテ東軍ヲ禦キレト云フ、後平野將監及ス帝陵モ亦多シ、孝徳天皇ノ陵ハ山田村ニアリ、大坂磯長陵ト云フ、一ニ之ヲ鶯陵ト唱ス、其傍ニ鶯關アリ、故名ツク、天皇天萬豊日ト號ス、皇極天皇ノ同母弟ナリ、天皇佛法ヲ尊ヒ、神道ヲ輕ンレ人トナリ、柔順ニシテ、貴賤ヲ擇ハス、頻ニ恩勅ヲ降ス、白雉五年十月難波長柄豊岸宮ニ崩レテ、同十二月大坂

磯長陵ニ葬ルト云ヘリ、廟陵記ニ、陵所ハ石川郡山田村ニアリ、大坂磯長ハ分明ナラスト、河内志ニ鶯關ヲ讚良郡ニアリトスルハ非ナリ、又春曙抄北村季ニ鶯陵ハ百舌鳥陵ト注セリ、是モ亦非ナリ、推古天皇ノ陵ハ、山田村ノ東南ニアリ、磯長山田陵ト云フ、土人コレヲ高塚ト呼フ、天皇諱ハ豊御食炊屋姫初額田部ト稱ス、欽明天皇ノ女ニシテ、用明天皇ノ同母妹ナリ、日本紀ニ額田部姿色美麗ニシテ年十八、敏達天皇ノ皇后トナル天皇崩シテ、崇峻天皇立ツ、蘇我馬子天皇ヲ弒ス、因

リテ群臣相議シ、敏達天皇ノ皇后ヲ推シテ位ニ即カシム、天皇在位三十七年ニシテ崩ス、壽七十五、用明天皇ノ陵ハ、春日村ニアリ、河内磯長原陵ト云フ一ニ園明土ト稱ス、天皇諱ハ橘豊日欽明天皇ノ第四子ナリ、在位二年ニシテ崩ス、天皇深ク佛法ヲ尊信ス、敏達天皇ノ陵ハ、葉室村ニアリ、磯長中尾陵ト稱ス、土人天王山ト名ツク、天皇淳仲倉オホクラ太珠タマ敷ト號ス、欽明天皇ノ第二子ナリ、此時佛法熾ニ行ハル、天皇詔シテ塔殿ヲ燒キ佛像ヲ棄テシム、天皇在位十四年ニシテ崩ス、此郡ノ東

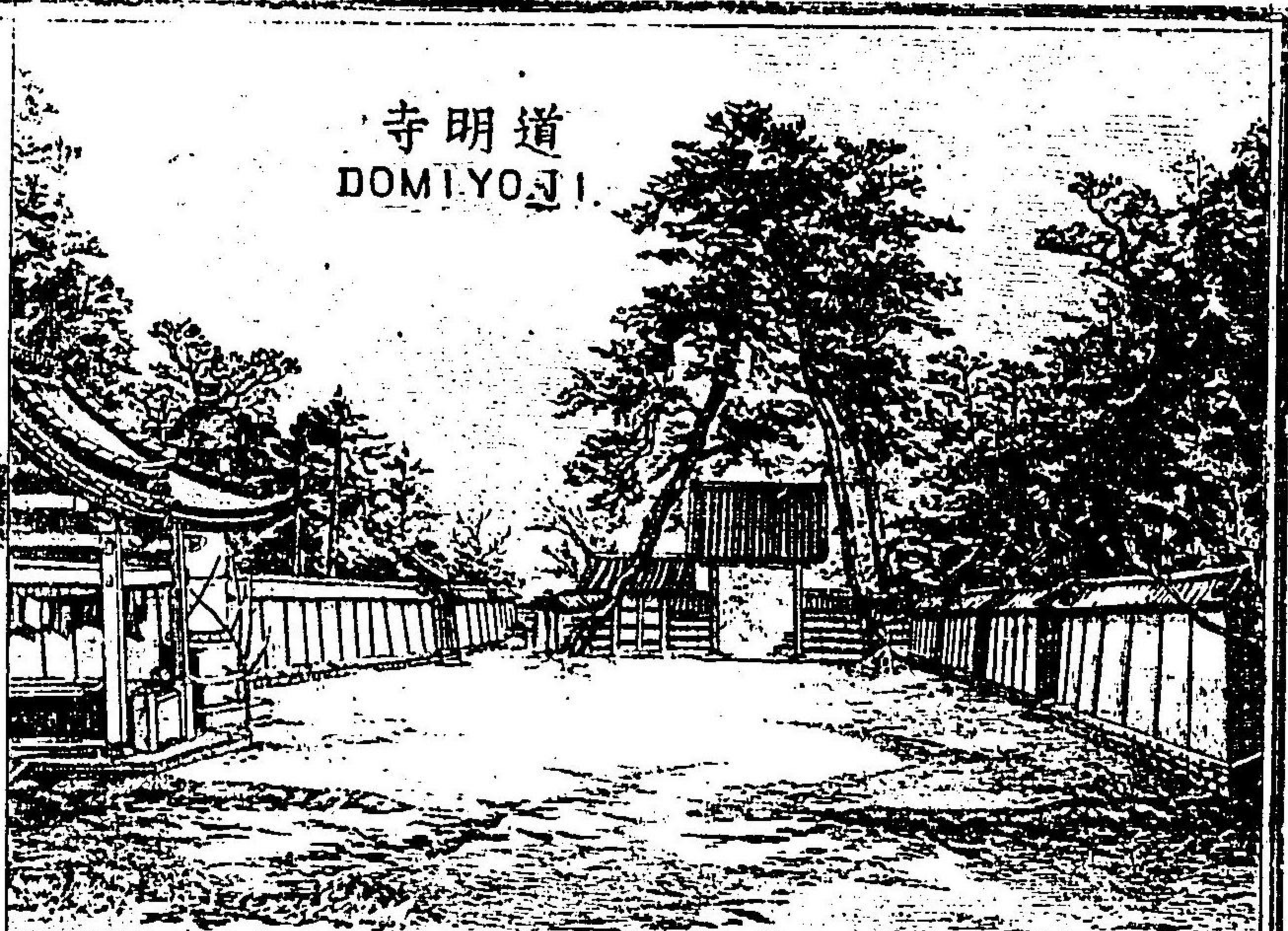
二上山ノ溪間ヨリ金剛鑽ヲ産ス、山田ノ村民コレヲ採リテ生計トス、玉匠、水晶、瑪瑙、其他玉石ヲ鑽ルニ皆ユレヲ用ユ、又山田村ノ邊ニ紫艸及菑草ヲ産ス、紫草ハ其花桔梗ニ似テ小ナリ、菑草ハ其花白シ、皆根株ヲ掘リ乾カシテ、絹帛綿布ヲ染ム、コレヲ山田染ト云フ、又富田林ノ邊ニ葡萄ヲ産ス、其味極メテ美ナリ、此郡ノ市場ハ、富田林上太子等ナリ、富田林ハ舊富田芝ト稱セシ平原ナリシカ、天正ノ頃ヨリ商賈貿易ノ地トナル、最酒家多シ、○古市郡ハ東南ハ石川郡ヲ限リ、西ハ丹

南北ハ安宿志紀ノ二郡ヲ限ル、此郡ノ繁華場ハ古市ヲ第一トス、古市ニ寺院アリ、西琳寺ト云フ、舊向原寺ト號ス、古昔欽明天皇ノ十三年百濟國ヨリ、佛像幡蓋ヲ獻ス、帝始メテ佛像ヲ尊信セントス、弓削守屋コレヲ諫ム、因リテ佛像ヲ蘇我稻目ニ賜フ、稻目コレヲ向原ノ邸ニ安置シ、殿堂ヲ建立シ、向原寺ト號ス、是我國佛法ノ濫觴ナリ、古市ノ南高屋村ニ安閑天皇ノ陵アリ、古市高屋陵ト云フ、一ニ城山ト字ス、天皇廣國押武金日ト號ス、繼體天皇ノ長子ナリ、在位二年ニシテ崩ス、壽

七十一、其西ニ清寧天皇ノ陵アリ、河内坂門原陵ト云フ、一ニ白髮山ト字ス、天皇白髮長廣國押稚日本根子ト號ス、雄略天皇ノ第三子ナリ、天皇生レテ、白髮故ニ當時白髮帝ト稱ス、在位五年ニシテ崩ス、又古市ノ北譽田村ニ、應神天皇ノ陵アリ、惠我藻伏山岡陵ト云フ、長野山ト字ス、陵上ノ松柏青々トシテ古色アリ、天皇ハ仲哀天皇ノ第四子ナリ、在位十一年ニシテ、大和ノ輕島ニ崩ス、譽田八幡ハ、即天皇ニシテ、例祭ハ毎年八月十五日ナリ、其東ニ壺井村アリ、此國ハ往時源家任國ノ

地ナルヲ以テ、此村ニ源賴信ノ館趾アリ、賴信ノ子賴義、義家等皆此ニ生シ、王家ニ功アリシハ、人ノ能ク知ル所ナリ、徳川氏五代ノ將軍綱吉、此ニ堂宇ヲ建テ、長ク源家宗廟ノ地トス、其東駒ヶ谷村ハ、大和ノ道ニ當リテ、毎年春秋ニ牛市アリ、遠近ノ人牛ヲ牽キ来リテ賣買ス、頗雜沓ナリ、此地ニ古寺アリ、金剛輪寺ト云フ、古鈴、古鏡、古劍、金環等ヲ藏ス、○安宿郡ハ、西ハ志紀郡ニ界シ、北ハ大縣郡ニ隣リ、南ハ石川古市ニ郡ニ接ス、郡小ニシテ地僻ナリ、寺院アリ、玉手山安福寺ト云フ、僧正

行基ノ創ル所ナリ、堂宇皆古製ニシテ、頗奇觀々
リ、好事家此製ニ倣ヒ、居宅ヲ營ミ、コレヲ珂憶建
ト云フ、珂憶ハ此寺中興ノ僧ナリ、元弘元年大坂
夏ノ役ニ後藤基次、薄田兼相等、城ヲ出テ、伊達
氏ノ將、片倉小十郎景綱ト戦ヒ、基次ハ銃手、荻又
市ニ斃サレ、兼相ハ騎士、河村新八ニ殺サレ、其地
實ニ此郡ノ玉手、片山ノ邊ナリト云フ、○志紀郡
ハ安宿郡ノ西ニアリテ、此郡モ亦小ナリ、澤田村
ニ允恭天皇ノ陵アリ、惠我、長野北陵ト云フ、市野
山ト字ス、帝雄朝津間稚子、宿禰ト號ス、反正天皇



ノ同母弟ナリ、在位四十
三年ニシテ、崩ス、其東南
土師里ニ道明尼寺アリ、
聖德太子ノ開基ニシテ
八島連詔ヲ奉シ、堂宇ヲ
建ツ、舊記ニ八島連ハ今
様ヲ諷ヒ初メレ人ナリ
ト云フ、寺中楯ヲ製ス、世
人コレヲ道明寺ト云フ、
道明寺ノ北舟橋村ニ水

仙花多シ、玉玲瓏、金盞銀臺等各種ノ名アリテ、風
流ノ客コレヲ玩フ○丹南郡ハ、東ハ石川古市ノ
二郡ニ界シ、西ハ八上及和泉ノ大鳥郡ニ隣リ、南
ハ錦部北ハ志紀丹北ニ接ス、此郡陣營アリ、狹山
ト云ヒ、丹南ト云フ、徳川氏ノ時、高木氏丹南ニア
リテ其封ハ一萬石ナリ、北條氏ハ狹山ニアリテ
亦一萬石ナリ郡ノ東ニ葛井寺アリ、楠正行三百
騎ヲ以テ、細川顯氏ノ大軍ヲ敗リシ古戰場ナリ、
其南岡村ニ仲哀天皇ノ陵アリ、惠我長野西陵ト
云フ、美佐武佐伊ト字ス、帝諱ハ足仲彦タラレナカツヒコ日本武尊

ノ第二子ナリ、在位九年ニシテ崩ス、廟陵記ニ陵
ハ錦部上原ニアリト云ヒ、國郡全圖ニハ、錦部郡
ニ載ス、河内名所圖繪ニハ、錦部上原ノ傍ニアル
ハ、高向王ノ墓ニシテ、帝陵ニアラスト云ヒ日本
紀ニハ、天皇ヲ河内國長野陵ニ葬ムルト云フ、長
野陵ハ、舊志紀郡ニアリ、即今ノ丹南郡ナリ、此陵
ノ南野口上村ニ仁賢天皇ノ陵アリ、埴生坂本陵
ト云フ、壯計山ト字ス、天皇諱ハ、大脚、字ハ島郎シマノリ、初
億計ト稱ス、顯宗天皇ノ同母兄ナリ、在位十一年
ニシテ崩ス、河内志ニ陵ハ黒山村ニアリトスル

者非ナリ、黒山村ニ荒陵アリ、周匝百五十間基山ト字ス、何ノ帝陵ナルカヲ知ラス、一説ニ大和國高市郡ナル、天武天皇ノ陵ヲ遷シタル者ナリト云フ、或ハ曰ク、基山ハ東西ニ長クシテ、帝陵ノ狀ニアラスト何レ、カ是ナルヲ知ラス、此郡ノ繁盛市場ハ、岩室、大野、西野、關等ナリ、關、西野、大野ハ和泉ヨリ紀伊ノ高野山ニ達スル官道ニシテ、來往ノ行旅多シ○丹北郡ハ舊丹比ニ作ル後世誤リテ丹北トス、既ニ丹北アリ因リテ對スルニ丹南ヲ以テセルナラン、此郡ハ國ノ西ニアリテ、南ハ

丹南ニ隣リ、北ハ澁川郡ニ接ス、此郡ノ南上田村ニ紫籬宮ノ舊址アリ、反正天皇、此ニ都スルコト六年、日本紀ニ初天皇淡路宮ニ生ル生レナカラニシテ齒一骨ノ如シ容姿美麗ナリ、井アリ瑞井ト云フ、此水ヲ汲ミテ太子ヲ洗フ時ニ多遲花落チテ井中ニアリ、因リテ太子ノ名トス、多遲花ハ今ノ虎杖花ナリ、故ニ稱シテ、多遲比瑞齒別天皇ト云フ、郡ノ名此ヨ其東島泉ニ雄略天皇ノ陵アリ、丹比高鷲原陵ト云フ、丸山ト字ス、天皇諱ハ大泊瀨、允恭天皇ノ第五子ナリ、在位二十三年ニシ

テ崩ス、又阿保村ニ、阿保親王ノ故蹟アリ、親王ハ平城天皇ノ皇子ニシテ、在原業平ノ父ナリ、嘗テ此地ニ在リシト云フ、○八上郡ハ、丹南、丹北ニ抱カレ、西和泉ニ界スル小郡ナリ、金田村ニ、畫工巨勢金岡ノ宅址アリ、金岡ハ、舊難波田氏中納言野足ノ子ニシテ、官大納言ニ至ル、宇多天皇ノ時、此ニ住セシト云フ、一説ニ金田ハ金岡ノ誤ナリト云ヘリ、市場アリ、福町ト云フ、○澁川郡ハ、丹北郡ノ北ニシテ、太子堂村ニ勝軍寺アリ、古昔用明天皇ノ時、弓削守屋佛法ノ國家ニ害アルヲ以テ、屢

天皇ヲ諫ム、聽レスシテ、此郡阿都ノ宅ニ退居セリ、聖德太子攻メテコレヲ殺ス、其後果シテ、守屋ノ言ノ如ク、逆賊馬子佛ヲ重シテ、天皇ヲ弑スルニ至ル、實ニ浩嘆ニ堪ヘサルナリ、又久寶寺村ニ城址アリ、古昔畠山麾下ノ士澁川某此ニ據レリト云フ、○若江郡ハ、澁川郡ノ北、茨田郡ノ南ニアリ、此郡ノ市場ハ、八尾ヲ盛ナリトス、此地奈良ノ官道ニ當リテ、行旅来往商賈輻輳ス、其南弓削村ニ弓削ノ行宮ノ址アリ、古昔孝謙天皇僧道鏡ヲ寵ス、道鏡寵ヲ恃ミ、權ヲ專ニシ、行宮ヲ此地ニ造

續日本紀ニ天平神護元年冬十月、天皇弓削ノ行宮ニ幸シ、詔シテ道鏡ニ太政大臣禪師ノ號ヲ授ケ、文武百官ヲシテ拜賀セシムト云ヘリ、八尾ノ西西郡村ニ木村重成、山口重信ノ墓アリ、重成ハ豊臣秀頼ノ近臣ナリ、壯年ニシテ智勇兼備ノ名アリ、大坂夏ノ役ニ、大野治長、真田幸村等ト共ニ城ヲ出テ、血戦シ、山口重信ヲ斬ル、重信ハ修理亮重政ノ子ニシテ、徳川氏ニ事ス、慶長十八年、父重政故アリテ、賤セラレ、武藏ノ河越ニ潛居ス、元和元年、重信大坂ニ事アルヲ聞キ、晝夜西ニ馳

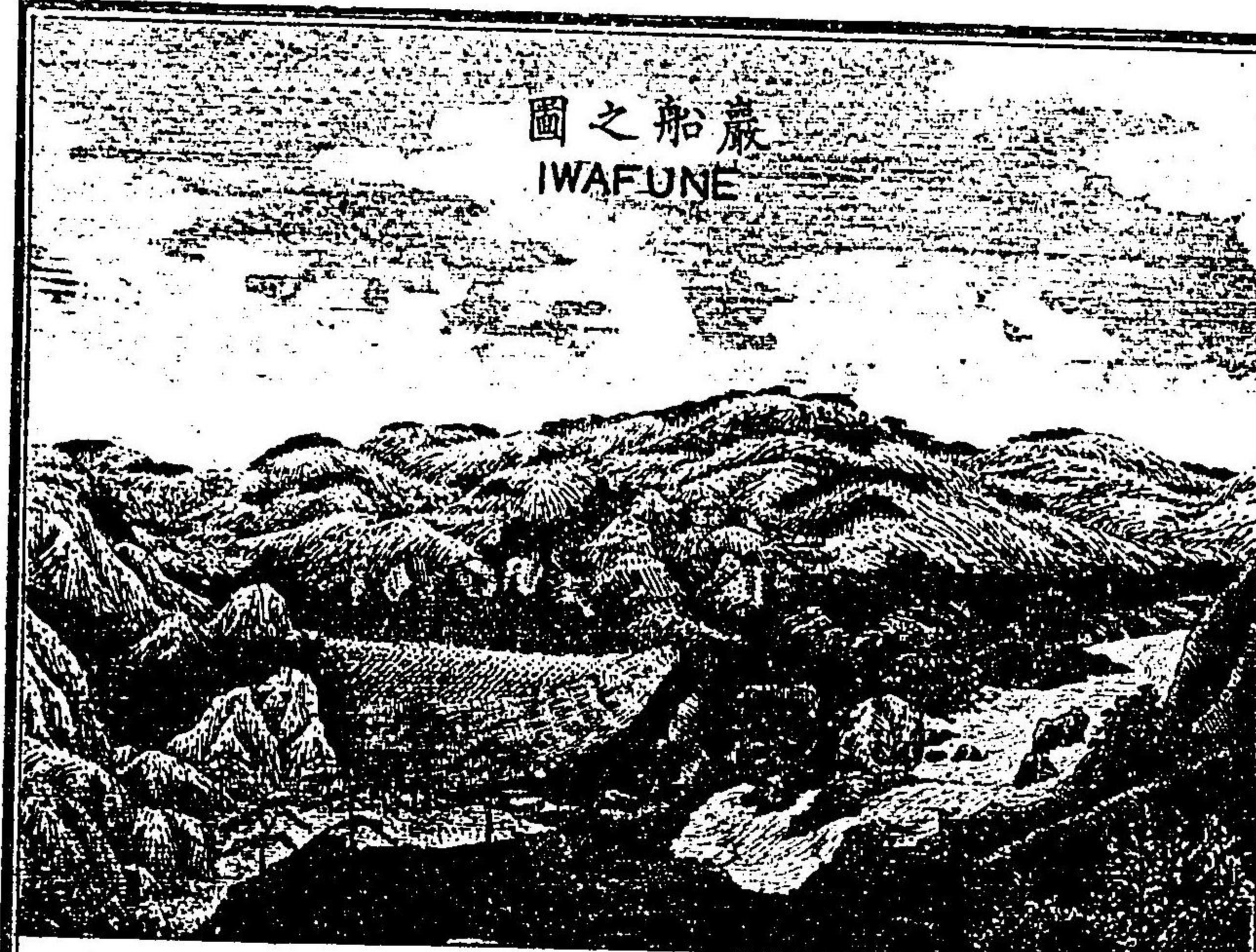
セテ、井伊直孝ノ隊ニ入り、戦死ス、時ニ年二十六、此ニ於テ東軍重成ヲ圍ミ、相戦ス、直孝ノ老臣菴原某、遂ニ重成ヲ刺シ、安藤某其首ヲ取ル、時ニ年二十五、後人二子ノ忠勇ヲ賞レテ、墳墓ヲ其地ニ建ツ、西郡ノ西稻田村ニ桃林アリ、春風ノ候、遊人來賞スル者多シ、○大縣郡ハ、國ノ東安宿高安二郡ノ際ニアリテ、郡ノ中央平野村ニ荒陵アリ、里人コレヲ清寧天皇ノ陵トスルハ、謬ナリ、其東安室村ノ邊、勝地多シ、瀑布アリ、鳴瀧ト云フ、溪間白雪ヲ飛ハシ、夏時避暑ノ地タリ、○高安郡ハ、大縣

郡ノ北ニアリテ、東ハ大和ノ平群郡ニ接ス、從來
 此國木綿ヲ産スル多ク、殊ニ此郡ノ木綿ハ、高安
 木綿ト唱ヘ輸出スルコト夥シ、郡ノ中央郡川ノ
 邊古墳多シ、土人コレヲ掘リ、金環、鐵針、陶器等ヲ
 得ルコトアリ、其東ニ城址アリ、天智天皇ノ時築
 キタル古城ナリシカ、後コレヲ毀ツ、永祿年間松
 永久秀、此ニ陣營ヲ設ケント云ス、又山畑村ニ業
 平ノ古墳アリ、事ハ伊勢物語ニ詳カナレハ略ス、
 ○河内郡ハ、若江、高安、讚良、三郡ノ間ニアリテ、郡
 ノ南六萬寺村ノ往生院ハ南北朝ノ時、捕正行ノ

兵營タリ、其傍四條村ハ、正行戰死ノ地ナリ、
云フハ即此地ナリ或ハ云フ南朝正平四年正月
 四條畷ハ讚良北條村ナリト、高師直師泰等、八萬騎ニ將トシテ四條畷ニ到ル、
 正行自三千騎ニ將トシテ賊ノ中軍ヲ突キ、師直
 ト死ヲ決セントシ、或ハ進ミ、或ハ退キ、晨ヨリ晡
 ニ至ルマテ遂ニ師直ニ近ツクコト能ハス、正行
 身箭ヲ被ル蝟毛ノ如ク、力盡キテ其弟正時ト相
 刺シテ斃ル、時ニ年二十二、此郡ノ中央繁華ノ地
 アリ、峠ト云フ、峠ノ北ニ髮切山アリ、初夏綠陰ノ
 候風流ノ客来リテ杜宇ヲ聽キ詩ヲ賦シ歌ヲ咏

ス、又繁華ノ地ハ、出雲井村ナリ、此地枚岡神社アリ、毎年例祭ノ時、遠近ノ力士群集シテカラ鬪ハス、老幼来リ觀ル者極メテ夥シ○讚良郡ハ、河内、交野二郡ノ間ニアリテ、東ハ大和ニ接ス、郡ノ中央ニ飯盛山ノ城址アリ、建武年間僧正憲法、コレニ據レルヲ、楠正成ニ陷レル、永祿年間、三好長慶又此ニ據ル、天正年間織田氏ノ有トナル其傍、苜屋村ニ楠正行ノ墓アリ、又塚脇村ニ和田賢秀ノ墓アリ、賢秀ハ正朝ノ弟ニシテ正行ノ從弟ナリ、四條畷ノ戰ニ賢秀獨敵卒ニ混レ師直ヲ伺ヒ

刺サントス、時ニ楠氏ノ卒湯淺ナルモノ降リテ賊軍ニアリ、賢秀ヲ見テ後ヨリコレヲ斬ル、賢秀眼ヲ瞑ラシ、湯淺ヲ見ル、湯淺懼レ後病ヲ發シテ死ス、○茨田郡ハ、西ハ淀川ニ臨ミ、東ハ讚良郡ニ界ス、此郡ノ市場ハ、守口、佐太、牧方ナリ、皆西京ノ官道ニ當リテ、殊ニ牧方ハ旅亭茶店最多ク、繁華ノ地タリ、佐太ノ近村番號ヲ以テ村名トシ、一番ヨリ十番ニ至ル、或ハ曰豊臣氏大軍ノ隊伍ヲ列セシ地ナリト、又守口ヨリ糟菜カスツケヲ産ス、其味極メテ美ナリ、世人コレヲ守口漬ト云ス、○交野郡ハ、



國ノ北ニアリテ、讚良郡
ヲ南ニス、此郡山水秀美
ノ地多ク、巖船ノ如キ元
寺瀧ノ如キ獅子窟寺ノ
如キ其最タリ、獅子窟寺
ニ後龜山天皇ノ陵アリ、
百重原陵ト云フ、天皇諱
ハ熙成、長慶天皇ノ弟ナ
リ、在位十八年ニシテ、北
朝ト和シ、京都ニ入ル、應

永三十一年崩ス、一説ニ天皇山城ニ崩シ、嵯峨ノ
福田寺ニ葬ル、コレヲ北方陵ト云フ、蓋此地ノ陵
ハ、南朝ノ舊臣相議シテ改葬セシモノナリト、此
郡ハ、古時天子遊獵ノ地ニシテ交野ト云フ、即今
ノ禁野中宮片鉾ノ邊是ナリ、

山川

國ノ中央ヲ貫キ、洋々トシテ西ニ向ヒ流ル、者
ヲ大和川トス、其流舊志紀郡ヨリ折レテ、西北ニ
赴キ淀川ニ入リシカ年々河畔ノ村水災ニ罹ル
ヲ以テ、元祿年間新溝ヲ鑿テ堤防ヲ築キ、柏原村

ヨリ直ニ西ヲ指シテ、攝津和泉ノ界ヨリ海ニ入
ラシム、是ヲ新大和川ト云フ、舊道ハ纔ニ細流ヲ
餘シテ、長瀬川ト云フ、小艇ニ掉シテ淀川ニ達ス
ルコトヲ得ヘシ、淀川ハ國ノ北境ヲ繞リテ西南
ニ流ル、攝津ノ部淀大和二川ノ間ヲ流ル、モノ
ヲ寢屋川トス、其源ハ交野郡ヨリ發シ、蛇行シテ
讚良郡ノ三介村ノ邊ニ至リ、恩智川ヲ併セテ西
ニ赴キ、玉串、長瀬ノ諸川ト會シ、攝津ニ入りテ淀
川ニ注ク、其他天野川、東條川、西條川、天川、龍間川、
徳菴川、高瀬川、蹉跎川、傍示川、舟橋川、片足羽川、飛

鳥川等アリ、其中稍大ナル者ヲ東條川トス、其源
ニアリ、一ハ水越嶺ヨリ發シ、水分村ニ至ル、是ヲ
水分川ト云ヒ、一ハ金剛山ヨリ發シ、千早ニ至ル、
是ヲ千早川ト云フ、二水相會シ、西北ニ向ヒテ流
ル、コレニ亞クテ西條川トス、其源ハ大和大澤嶺
ノ西及錦部郡ノ九重嶺等ヨリ發シ、東北ニ向ヒ
テ流レ、諸川ヲ併セテ東條川ト合ス、是ヲ石川ト
云フ、又北流シテ大和川ニ入ル者ヲ天野川トス、
其源ハ天野山ヨリ發レ、狭山ノ池ニ入り再出テ
北ニ流レ、大和川ニ入ル、其他ハ皆細流ナリ、南方

ニ屹立スル山峰ヲ天野山トシ、藏王峰トシ、紀伊
嶺トシ、九重嶺トシ、大澤嶺トス、天野山ハ、山脈紀
伊和泉二國ニ跨リ、高峻ト稱スルニ足ラスト雖、
積翠重々トシテ頗勝景ノ境タリ、藏王峰ハ、峻嶺
ニシテ攀躋甚難シ、紀見、九重、大澤ハ皆紀伊ニ赴
ク間道ナリ、又東方ニ秀出スル山峰ヲ、金剛山、千
早嶺、水越嶺、平石嶺、篠ヶ峰、竹内嶺、二上嶽、龜瀨嶺、
高安山、十三峠、掠ヶ根嶺、生駒山、鷲尾山、岩舟嶺、草
香山、飯盛山、國見山、荒坂嶺等トス、其他無名ノ山
岳犬牙ノ如クニシテ、金剛山ハ其頂突兀トシテ

金剛山之圖
KONGŌ SAN.



雲間ニ聳エ眺望スレハ、
頗美觀タリ、古昔正成此
峰ヲ南朝ノ皇居トシ、以
テ社稷ヲ興復センコト
ヲ欲セシ地ナリ、千早嶺
ハ金剛山ニ連リテ亦巍
々タル山峰ナリ、此山脈
北ニ馳セテ竹内嶺ニ至
ル其間ニ葛城山アリ、篠
ノ峰ハ、水越、平石ノ間ニ

孤立シ、山高クシテ、且險ナリ、又ニ上嶽ハ大和ニ
跨リ二峰並立セリ、男嶽ト云ヒ、女嶽ト云フ、龜瀨
嶺ハ、大和川ノ涯ニ沿ヒテ巍々然タリ、高安山ハ
高安郡ノ東ニアリテ幽静ノ境ナリ、又十三嶺ハ、
大和ニ至ル官道ニシテ、神立ヨリ大和ノ平群郡
ニ入ル、路傍ニ墳墓十三アリ、故ニ名トス、掠ケ根
嶺ハ一ニ暗峠ト云フ大和ニ赴ク官道ニシテ、嶺
上ニ茶店アリ、此山脈生駒山ニ連ル、生駒山ハ大
和ニ跨カル、大和ノ部鷲尾山ハ山峰峭絶ニシテ、
櫻樹アリ、春候遊人多シ、草香山ハ神武天皇東征

ノ時、越エタル所ナリ、飯盛山ハ樹木鬱蒼トシテ、
山勢恰モ飯ヲ盛リタルカ如シ故ニ名トス、岩舟
嶺ハ大和ノ路ニシテ巖石裁々タリ、國見山及荒
坂嶺ハ皆峻險ニシテ、眺望絶佳ナリ、

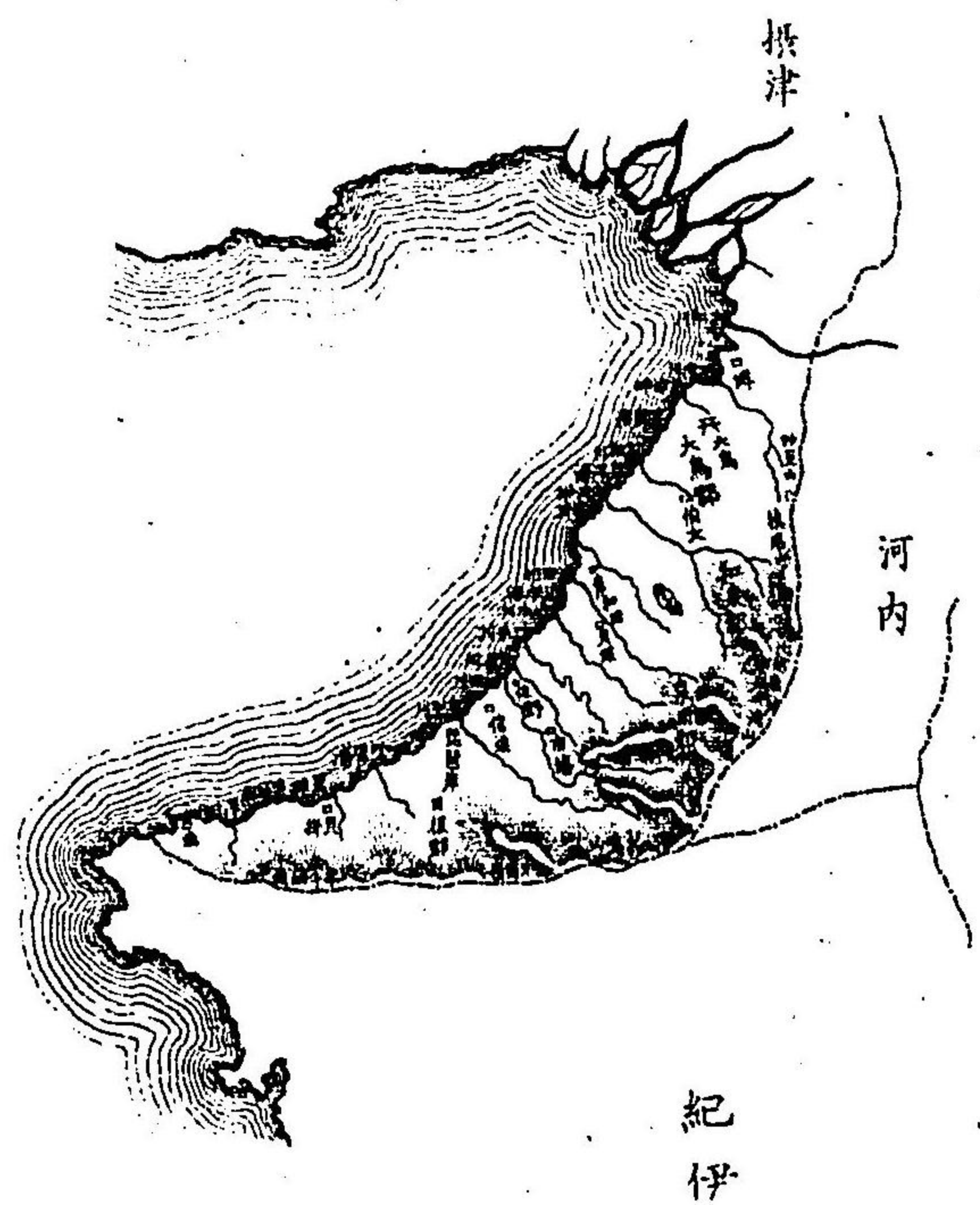
池

狭山池ハ錦部郡ニアリテ天野小山田ノ溪流此
ニ入ル、周回大約二里、此國第一ノ大池ニシテ、池
邊ノ荷花藻中ノ魚鱗、頗騷人ノ情ヲ慰ム、古昔崇
神天皇詔シテ耕耘ノ為メニ鑿タシメタル所ナ
リ、

産物

産物ハ、酒、綿、木綿ノ類、茶、烟草、干瓢、蓮根、水仙花、菖蒲花、楊梅等ニシテ、又白灰、金剛鑽、木樨子道明寺ヨリ出作ツ數珠ハヲ出タス、牧方ニ貨食船ニアリ、食ハンカ船ト云フ、酒肴及諸ノ飲食ヲ載セ、河瀬ノ船客ヲ呼ヒ強ヒテコレヲ食ハシメントス、其聲恰人ヲ叱スルカ如シ、

和泉之圖 IDZUMI.



三十四度

三十四度

和泉誌

位置

和泉國ハ畿内中ノ一小國ニレテ、東南ハ紀伊、河
 内ニ接シ、北ハ攝津ニ界シ、西ハ海ニ濱ス、此國舊
 河内國ニ屬セシカ、元正天皇靈龜二年、其大鳥日
 根泉ノ三郡ヲ割キテ始メテ和泉國ヲ置ク類聚
國史
ニ見エ一説ニ神功皇后新羅ヲ征セシ時、此地中
 ヨリ清水涌出スルコト丈餘其流レ長クシテ味
 甘露ノ如シ、因リテ和泉ト名ツク、其地今ノ國府
 ノ清水是ナリト、又一書ニ、和泉ヲ出泉ニ作ル、蓋

出ル泉ノ義ナラント、其後和泉郡ヲ分チテ、南郡
ヲ置キ、今ハ四郡トナル、曰ク大鳥、曰ク和泉、曰ク
日根、曰ク南是ナリ、足利氏ノ時、大内義弘、此地ヲ
領セシカ、應永年間細川滿元ノ所有トナリ、其後
享保年間三好氏ニ屬シ、豊臣氏ノ時、其弟秀長ニ
賜フ、徳川氏ノ時、岡部、渡邊、兩氏ヲ此地ニ封シ、又
堺奉行ヲ置キテ、管轄セシム、王政維新ノ後、堺縣
ヲ置ク、

神社

大鳥神社ハ、官幣大社ノ一ニシテ、大鳥郡ニアリ、

祭神ヲ日本武尊トス、例祭ハ毎年八月十二日ナ
リ、林羅山ノ本朝地理誌略ニ、和泉國大鳥社ハ、昔
神化シテ、白鳳トナリ来リテ此ニ集ル、故ニ社ヲ
建テ、コレヲ祭ル、號シテ大鳥ト云フ、大鳥社傳
ニ、日本武尊東夷ヲ征シ、伊勢ノ能褒野ニ薨ス、因
リテ其地ニ葬ル、尊ハ尋ノ白鳥ニ化シ飛ヒテ、倭
ヨリ河内國ニ到ル、即此所ニ宮ヲ造ル、是今ノ大
鳥社ナリト、上古ノ事多クハ神怪此クノ如シ、三
代實録ニ貞觀元年正月、和泉國大鳥神ニ從四位
ヲ授ク、同九月詔シテ、大鳥ノ神ニ幣ヲ奉リ、風雨

ノ為ニ禱ル、同三年七月、大鳥ノ神ニ從三位ヲ授
クト、一宮記ニモ日本武尊ヲ祭ルトス、當國ノ一
ノ宮ナリ、

土地

大鳥郡ハ國ノ北ニアリテ、最北ニ堺町アリ、攝津
河内、和泉、三國ノ堺ナルヲ以テ名トス、此ニ縣廳
アリテ、全國四郡及河内十六郡ヲ管ス、明德年間
山名氏清此地ニ城堡ヲ築キ泉府ト名ツク、是ヨ
リ大内、細川、織田、豊臣ノ諸氏更コレヲ有シ、徳川
氏ニ到リテ始メテ奉行ヲ置キ守ラシム、市街繁

華ニレテ巨商軒ヲ並ヘ、港津便利ニレテ賈舶常
ニ往来ス、妓樓アリ劇場アリ、殊ニ戎島ハ風景美
ニレテ且繁華ノ地タリ、街中寺院多シ、妙國寺ノ
蘇鐵、金光寺ノ藤花、其名最著ハル、又南宗寺ハ幽
静ニレテ眺望佳ナリ、此地古ヨリ有名ノ人ヲ生
スルコト多シ、小西攝津守行長ハ、巨商如清ノ長
子ニレテ、文祿年中豊臣秀吉ノ命ヲ奉シ、大軍ヲ
率井テ朝鮮ヲ代チ王都ニ迫リ、其威名四隣ニ轟
ク、又鼠樓、粟新左衛門ハ、刀工ニレテ、諧語、放言詩
歌ヲ善クシ、秀吉ニ愛セラレ、其他肖柏ノ如キ紹

鷗ノ如キ、利休ノ如キ、茶及和歌ヲ以テ稱セラル、
堺ノ東舳、松村ニ仁徳天皇ノ陵アリ、大仙陵ト號
ス、天皇諱ハ、大鶴鶴、應仁天皇ノ第四子ナリ、母ヲ
仲姫命ト云フ、古事記ニ壽八十三、日本紀ニ天皇
六十七年冬十月、河内國石津原ニ行幸アリテ、陵
地ヲ定メ、始メテ陵ヲ築クト云ヘリ、舊事記ニハ、
百舌鳥野陵ニ葬ルト云フ、百舌鳥野、石津原共ニ
今ノ舳松村ナリ、其北ニ、反正天皇ノ陵アリ、楢井
陵ト云フ、天皇諱ハ瑞齒別、仁徳天皇ノ第三子ナ
リ、古事記ニ壽六十、日本紀ニ耳原陵ニ葬ルト云

ヘリ、延喜諸陵式ニ百舌鳥耳北陵ハ、丹比紫籬宮
ニ御宇反正天皇ト云ヘリ、其南ニ履仲天皇ノ陵
アリ、天皇諱ハ去來穗別、亦仁徳天皇ノ子ナリ、古
事記ニ壽六十四、日本紀ニ百舌鳥耳原陵ニ葬ル
ト云ヘル、即是ナリ、其傍ナル家原村ハ、僧正行基
ノ生レタル所ニシテ、家原寺アリ、又城址アリ、古
昔雀部次兵衛ノ築ク所ニシテ、永祿十二年三好
氏ニ滅サル、郡ノ東ニ高藏村、辻村、北村、岩室村ア
リ、此邊古時陶器莊ト云ヒ、陶器ヲ製出スル多シ、
世ニ行基焼ト云フ者是ナリ、郡ノ西沿海ノ地ハ

風景秀美ニシテ濱寺ノ舊跡古松鬱々トシテ高
 師ノ濱ニ連リ北ニハ摩耶武庫ノ諸山ヲ望ミ西
 ニハ淡路島波間ニ峙チ南ニハ紀ノ海阿波ノ鳴
 門ヲ觀ル真ノ一幅ノ畫ノ如ク此海濱ヲ總ヘテ
 茅渟浦ト云フ茅渟ハ古昔此國ノ總稱ナリ日本
 紀ニ神武天皇東征セシ日膽駒山ヲ踰テ中洲ニ
 入ラントス長髓彦コレヲ禦ク官軍利アラズシ
 テ更ニ舟行シ南ノ方水門ニ到ル皇兄五瀨命矢
 ニ中リテコノ水ニ就キ其傷ノ血ヲ洗ス故ニ血
 沼ノ名アリト○和泉郡ハ大鳥郡ノ南ニアリテ

水間寺之圖
 MIDZUMADERA

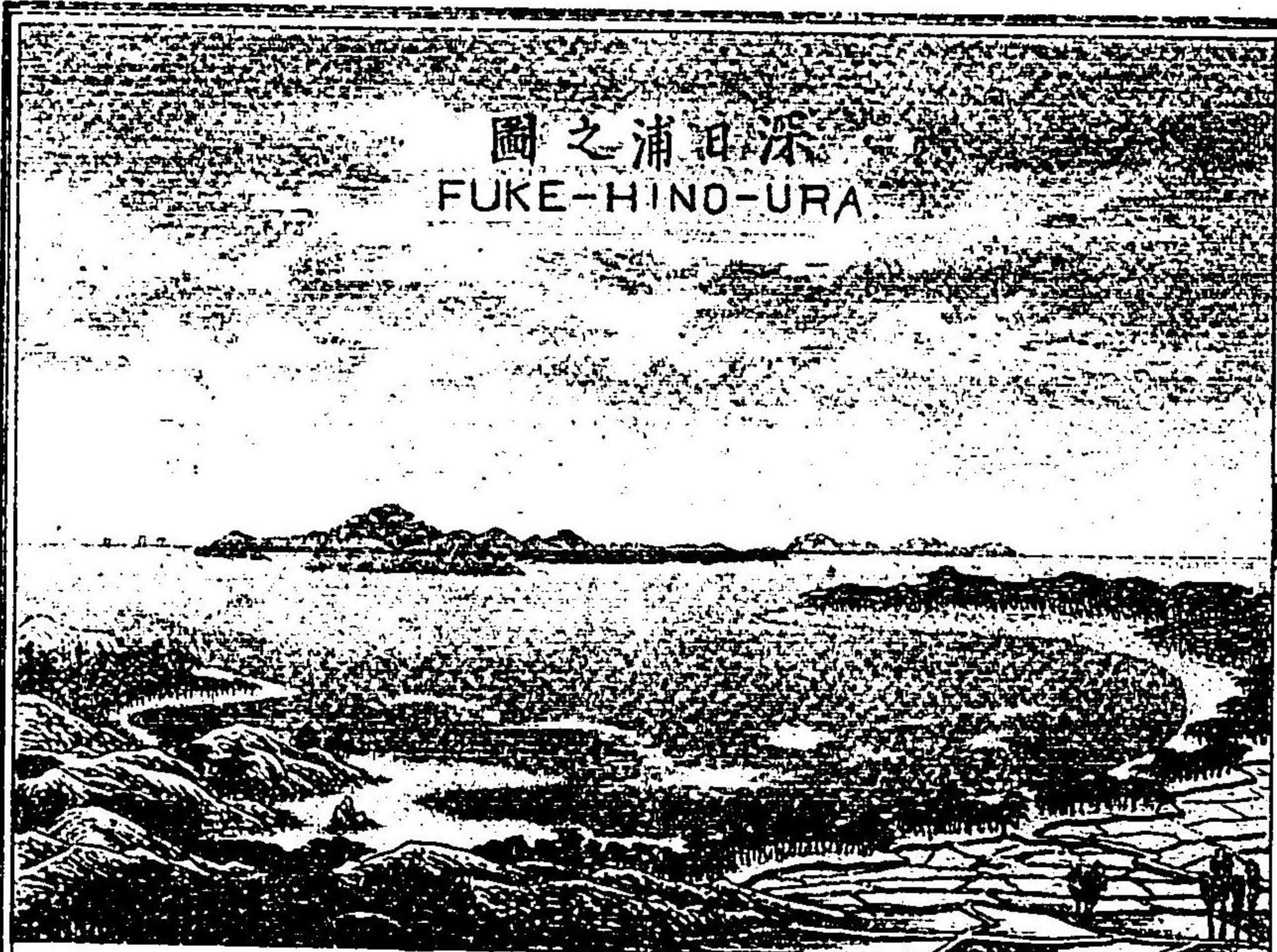


東ハ紀伊河内ノ境ニ接
 ス此郡ノ市場ハ伯太横
 山等ナリ伯太ハ舊渡邊
 氏ノ封地ナリ其傍ニ府
 中村アリ古昔國司ノ館
 アリテ橘道貞和泉式部ノ夫源
 順紀貫之等皆和泉守ニ
 任セラレ此地ニ居リシ
 ト云フ清泉アリ即國府
 ノ清水ナリ其西中村ニ

信太森アリ、森中白狐祠ヲ建ツ安部晴明ノ母ヲ
狐トスルノ俗説ニ從ヘルナリ、此地古ヨリ特ニ
著ル、者和歌ニ由リテナリ、此郡モ亦寺院多シ
模尾山ハ模尾山腹ニアリテ觀音ヲ安ス、遠近賽
者常ニ夥シ、成徳寺ハ牛瀧山ニアリ、此山楓樹多
ク秋候遊人踵ヲ接シテ到ル、○南郡ハ和泉郡ノ
南ニアリテ、舊和泉郡ニ屬セシカ、後分チテ兩郡
トナル、西濱ニ岸和田城アリ、古昔楠正成ノ支族
和田新三郎高家始メテ築ク所ナリ、永祿年間ハ
三好氏ノレニ居テ、天正年間ニ及ヒテ中村氏此

ヲ守リ徳川氏ノ時岡部氏ノ封トナル、城下市街
繁華ニシテ、貿易頗盛ナリ、此郡ノ市場ハ、貝塚麻
湯等ナリ、郡中寺院多シ、其著名ナルモノハ久米
田寺、泉光寺、神尾寺、水間寺等ニシテ神尾寺ハ此
國ノ中心ニアリ眺望頗佳ナリ、水間寺ハ水間村
水流ノ間ニアリ、故ニ名ク、○日根郡ハ南郡ノ南
ニアリテ、東南ハ紀伊ニ接ス、此郡ノ市場ハ貝掛
市場、山口、信達等ナリ、佐野、湊村等ハ海濱ニアリ
テ、運送便利商賈輻輳ノ地ナリ、殊ニ佐野ノ松原
ハ古人歌ニ咏スル者多シ、其南海ニ浴ヒテ尾崎

深日浦之圖
FUKE-HINO-URA



村アリ古時港津アリシ
ト云フ、南ニ淡輪アリテ、
淡輪氏世此ニ住ス、故ニ
名ツク、其傍ナル深日ニ
城址アリ、源平ノ頃、安摩
六郎岡部兵衛等ノ共ニ
築ク所ナリシカ、平氏ノ
大將能登守教經ニ陥サ
ル此海岸ヲ深日浦ト云
フ、風景絶佳ニシテ、海上

漁舟多シ、又貝掛ノ南ニ箱作アリ、石ヲ産ス、コレ
ヲ和泉石ト云フ、其色青白其質細密ニシテ、諸器
ヲ製スヘシ、其傍中村ニ躑躅岡アリ満山躑躅ニ
シテ、花時頗壯觀ナリ、此郡亦神社佛閣多シ○全
國大抵平坦ナリト雖、東南ノ境ハ皆山ナリ、地氣
温和ニシテ、五穀豊饒ス、人民ノ心性ハ佞奸ナリ、
人國記ニ當國ノ人ハ用井ハキニ似テ用井ヘカ
ラス、譬ハ鋼ナキ利刀ノ如シト云ヘリ

山川

川流ハ大鳥郡ノ石津川、其源ヲ鉢峰、妙見山等ヨ

リ發シ流レテ下石津ニ至リ海ニ入ル、水清クシ
 テ布ヲ曝スヘシ、又和泉郡ノ大津川ハ、其源ヲ牛
 瀧山及南郡ノ葛城嶺ヨリ發シ、西流シテ海ニ入
 ル、又南郡ノ津田川ハ、葛城嶺ヨリ出テ日根郡ノ
 岡田川ノ大木越ヨリ出ツ男里川ハ、三ヶ畑及琵琶
 岸等ヨリ發ス、此川ノ涯ニ男里アリ、元明天皇
 ノ時勅レテ、國郡鄉村ハ佳名ヲ撰ヒ、限ルニ二字
 ヲ以テセヨト云フ、即紀ノ國ヲ紀伊トシ、津ノ國
 ヲ攝津トスルノ類ナリ、獨男里ノミ一村一字ナ
 ルハ怪ムヘシ、總ヘテ此國ノ川流ハ、平時川道砂

礫ノミニシテ霖雨ノ候ニ及ヘハ、水流奔馳シ、皆
 攝津ノ海ニ入ル、山峰ハ東方國境ニ、牛瀧山、七越
 嶺、葛城山、模尾山アリテ和泉及南郡ニ屬ス、山脈
 皆紀伊ニ跨ル、又南境ニハ孝子畑、井關嶺、犬鳴山、
 琵琶岸等アリテ、日根郡ニ屬ス、山脈紀伊ニ連リ、
 頗峻險ナリ、

港池

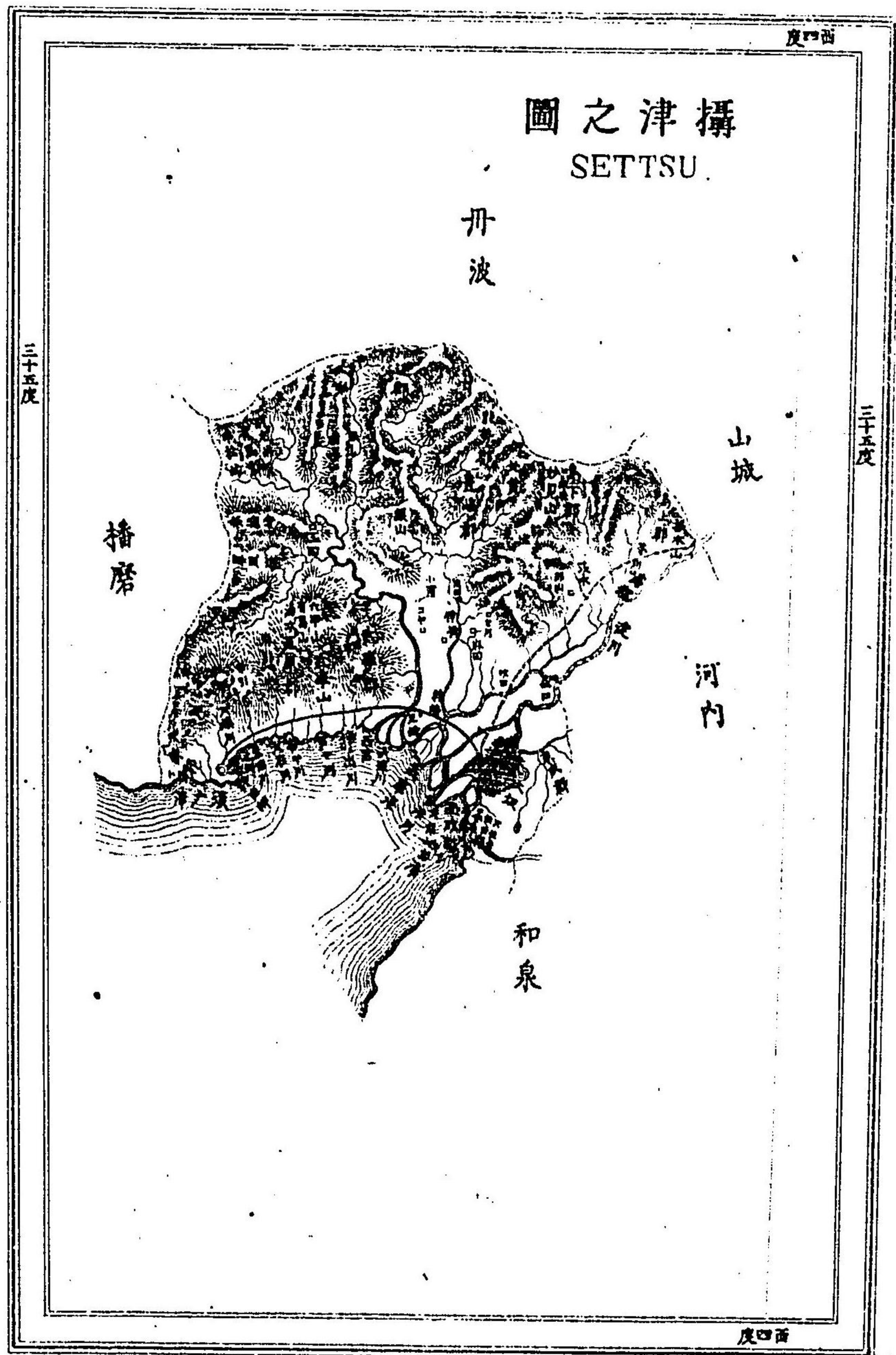
堺港ハ、今水淺クシテ、巨船ヲ繫クコト能ハスト
 雖、享祿天文ノ頃ハ、外國貿易ノ一場ニシテ、海外
 ノ賈舶常ニ輻輳シ、我商人モ亦海外ニ到ルモノ

多シ、納屋助左衛門ノ如キハ、天正年間琉球ヨリ
呂宋ニ航シ、文祿年間歸朝シテ名器ヲ秀吉ニ上
ルト云フ、其後徳川氏ニ及ヒテ港津ヲ鎖シ、巨船
ヲ毀テ、外國ノ貿易ヲ絶シ、是ニ於テ其地忽昔日
ノ繁華ニ似ス、然レトモ、内國ノ賈舶ハ、常ニ輻輳
シテ帆檣林ノ如シ、谷川港ハ日根郡ニアリ、慶長
年間桑山法印氏勝初メテ開港ス、方今港内水淺
ク沙遠クシテ巨船ヲ容ル、コト能ハス、然レト
モ、此港モ亦頗繁華ナリ、○久米田池ハ、南郡久米
田寺ノ傍ニアリ、又珍努池ハ、日根郡鶴原村、佐野

川村ノ間ニアリ、

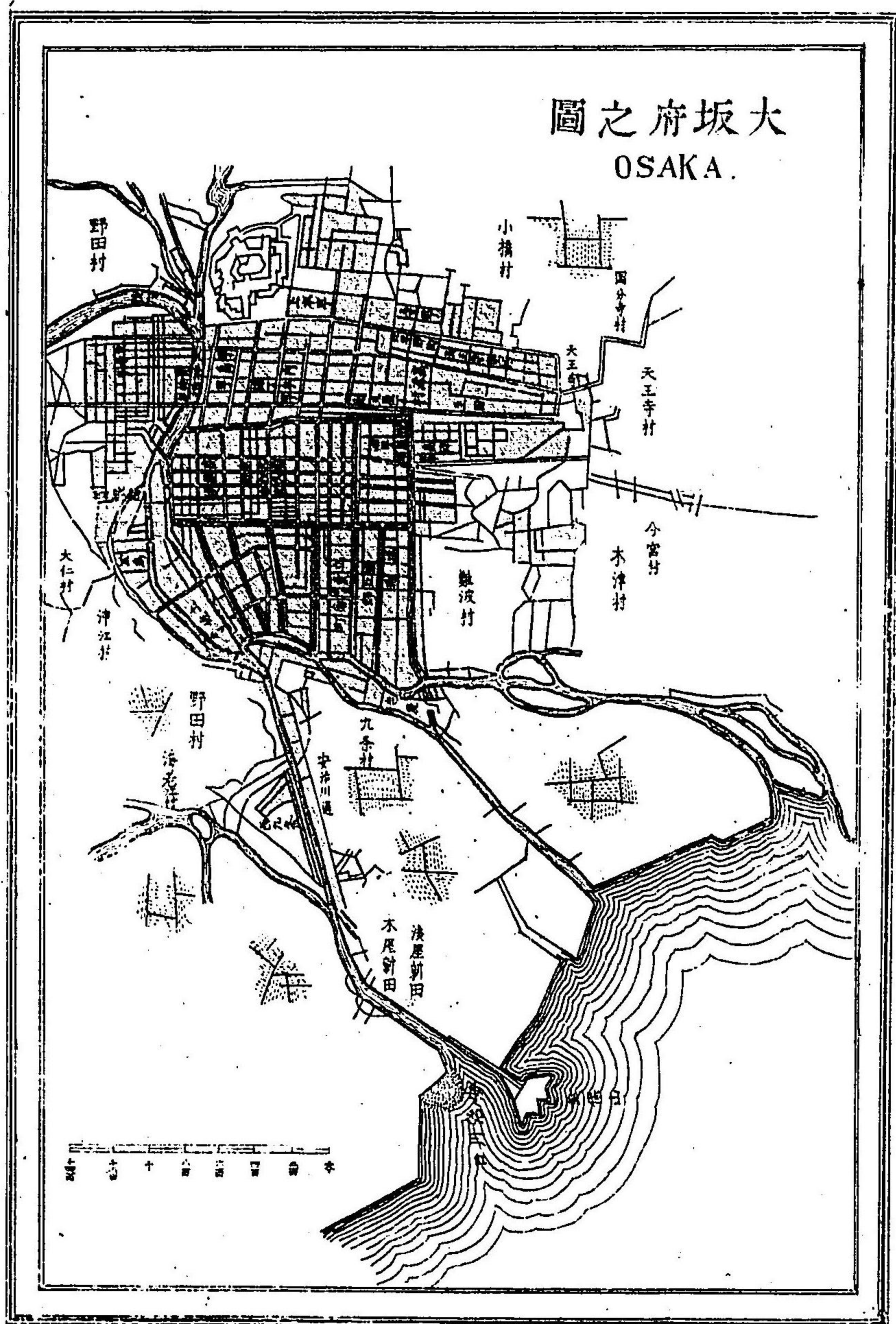
産物

産物ハ、酒、油、醬油ノ類ニシテ、酒ハ伊丹ニ及ハス
ト雖、製造頗多シ、又撰糸絹、麻布、木綿、絹帛、漆器、庖
丁、鐵砲等ヲ出タス、堺街鍛冶多シ、我國鐵砲ヲ製
造セシハ、實ニ此ニ始マルト云フ、又湊紙、線香、白
粉、丹、朱、茶、烟草、壺燒塩、松茸ノ類ニシテ魚鱗ハ、海
鰻、鯛、鱸等ナリ、鯛ハ茅渚鯛ト稱シテ味最美ナリ、
其他和泉石ヲ以テ諸器ヲ製造シ、他國へ輸出ス
ルコト多シ、



攝津之圖

大坂府之圖
OSAKA.



神戶港之圖
KOBÉ.



攝津誌

位置

攝津國ハ畿内五國ノ一ニシテ、東ハ河内及山城
ニ連リ、西ハ播磨ニ接シ、南ハ和泉ニ界シ、北ハ山
城及丹波ニ隣ル、此國舊浪速國ト云フ、神武天皇
紀ニ戊午春二月皇師遂ニ東シ、舳艫相接シテ、難
波ノ崎ニ到ル、遇、奔潮太急ナリ、因リテ名ツケテ、
浪速國ト云フ、又浪華ト稱ス、今難波ニ作ルハ謬
ナリト云ヘリ、風土記ニ應神天皇ノ時ニ初メテ
攝津ノ號アリ、萬國ノ海船此ニ會スルノ義ナリ

ト云フ、諸社一覽ニ攝ハ字彙ニ靜謐ナリ、漢書ニ攝然トシテ、天下安シ難波ノ堀江ハ天下著船ノ津ナリ天下靜謐ノ義ヲ以テ攝津ト名ツクト云ヘリ、昔攝津職ノ官アリ、是其以テ此名アル所ナリ、仁徳天皇難波ニ都ス、コレヲ高津宮ト云フ、其後孝徳天皇長柄^{ナカノ}豊崎ニ都ス、コレヲ豊崎宮ト云フ、天武天皇ニ至リテ、難波ノ宮ニ幸セラレ、攝津職ヲ置キ、其後又國司ヲ置ク、建武年間楠正成コレカ守タリ、延元年間赤松範資國ノ半ヲ得テ、文和年間佐々木秀詮コレニ代ル、應永年間細川頼

之守護タリ、其後國亂相繼キ、群雄相競ヒ、其間殆ント八十餘年、天正年間織田信長僧顯如ト戦ヒ、遂ニ和ヲ講ス、豊臣氏ニ至リ新ニ大城ヲ築ク、後秀頼徳川氏ト隙ヲ生シテ東軍コレヲ攻メ、城陷リ豊臣氏亡フ、徳川氏ノ時此ニ城代ヲ置キ更ニ松平、永井、九鬼、青木等ノ小諸侯ヲ各地ニ封ス、天保年間大塩平八郎ト云フモノ亂ヲ作シ、市廳ニ逼ル事敗レテ出奔シ、遂ニ自殺ス、將軍家茂ノ毛利氏ヲ討ツ大坂城ニ入り軍半ニシテ薨ス、將軍慶喜ノ職ヲ辭スル退キテ此城ニ入り兵ヲ引キ

テ京師ニ入ラシメ、京兵コレヲ討ツ、慶喜軍敗
 レテ江都ニ歸ル、王政維新ノ後、此地ヲ以テ三府
 ノ一トシ、大坂府ト稱シ、知事參事ヲ置キ、七郡ヲ
 管轄セシム、曰ク島上、曰ク島下、曰ク豊島、曰ク能
 勢、曰ク西成、曰ク東成、曰ク住吉、而シテ國ノ西ニ
 兵庫縣ヲ置キ、五郡ヲ管轄セシム、曰ク八部、曰ク
 免原、曰ク兵庫、曰ク川邊、曰ク有馬是ナリ、

神社

住吉神社ハ、官幣大社ノ一ニシテ、住吉郡ノ住吉
 ニアリ、祭神ヲ底筒男命、中筒男命、表筒男命、息長

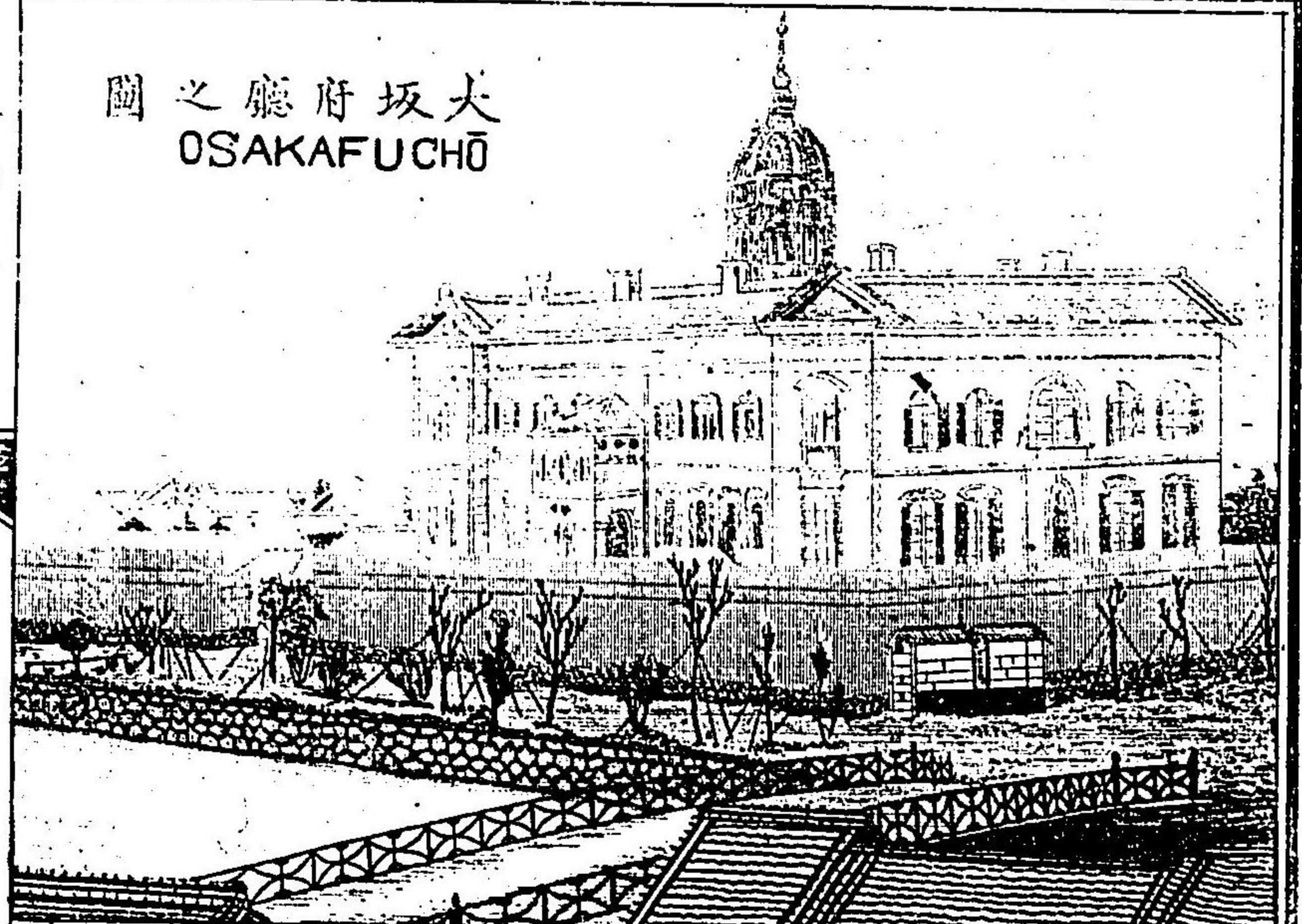
帶姫命、四座トス、堂宇宏壯ニシテ、境地モ亦廣
 シ、例祭ハ、毎年八月十三日ナリ、生國靈神社モ亦
 官幣大社ノ一ニシテ、東成郡ニアリ、祭神ハ生島
 神、足島神、二座トス、古昔此社今ノ大坂城ノ地
 ニアリシカ、豊臣氏ノ時此地ニ遷セリト云ク、老
 幼群賽境内極メテ雜沓ナリ、例祭ハ、毎年九月九
 日ナリ、廣田神社ハ、武庫郡ノ廣田村ニアリ、祭神
 ヲ撞賢木嚴之御靈、天疎向津媛命ノ二座トス、例
 祭ハ、毎年三月十六日ナリ、湊川神社ハ、八部郡湊
 川ノ北坂本村ニアリテ、楠正成ノ靈ヲ祭ルモト

一 堆ノ古墳ナリシカ、元録年間水戸黄門光園碑ヲ建テ精忠ヲ表シ、人臣ノ龜鑑トス、王政維新ノ後更ニ堂宇ヲ建テ、コレヲ祭ル、例祭ハ毎年七月十二日ナリ、

土地

大坂府ハ三府ノ一ニレテ、東成、西成ノ二郡ニ跨リ南海ニ瀕ス、府廳ハ、西成郡ノ東横堀ニアリ、抑此府ハ、我國咽喉ノ地ニシテ東西ノ貨物皆此ニ聚マリ、國內ノ豪賈多ク此ニ居ル、運輸ノ便貿易ノ盛ナル、實ニ此地ニ過クルモノアラズ、市街ハ

大坂府廳之圖
OSAKAFUCHŌ



端正ニシテ清潔ナリ、溝渠縱横架スルニ橋梁ヲ以テス、其最繁華ナルヲ心齊橋トシ、日本橋トシ、今橋トシ、天満トシ、高麗橋トシ、淀屋橋トス、其他屈指ニ暇アテス、鐵道寮アリ、鐵路海ヲ環リテ神戸ニ至ル、行程十里電信寮アリ、東西千里音信瞬

間ニ達ス、造幣寮アリ、金銀貨幣ヲ鑄造スル日ニ
盛ナリ、學校アリ教育ノ法至レリ、鎮臺アリ、精兵
常ニ變ニ備フ、其他病院銀行等備ハラサルモノ
ナシ、而シテ其建築ハ皆西洋風ニ倣ヒ、頗壯觀ナ
リ又公園アリ競馬場アリ、府ノ西松島ハ外國ノ
互市場ニシテ各國領事ノ居館極メテ美ナリ、府
ノ南天保山ハ海面ニ斗出シ白色ノ燈光舟行ノ
便ニ供ス、天保年間大坂諸川ヲ浚ヒ土沙ヲ此ニ
運シテ山ヲ作ル故ニ天保山ト云フ、風景絶佳ナ
リ、近日此地ヲ以テ外國貿易ノ埔頭トスルノ議

アリシカ、事行ハレス、又大坂城ハ豊臣氏ノ築ク
所ニシテ高壁深濠有名ノ大城ナリシカ、今ハ只
其牙城ヲ存ス、其他府下縱遊ノ地ハ、天王寺、高津
座摩等ニシテ、道頓堀ノ劇場、新町、北野新地ノ妓
樓晝トナク、夜トナク喧嘩雜沓ナリ、凡此府ノ風
俗ハ大抵山城ニ似タリト雖、心性頗狡猾ナリ、間
狹氣ヲ帶フルモノアリ、婦人ノ肌膚雪白ナリト
雖、京師ニ比スレハ鄙ナリ○住吉郡ハ北ハ東成
西成ノ二郡ニ隣リ、東ハ河内ノ澁川、八上、丹比ノ
三郡ニ接シ、南ハ和泉ノ大鳥郡ニ界シ、西ハ海濱

ニ臨ム此郡ノ繁華市場ハ住吉ヲ最トス住吉神
社アリ凡大坂ニ遊フモノハ沐浴シテ必先此ニ
賽ス住吉舞ト稱スル者アリ僧徒五六人一隊タ
リ一僧大傘ヲ建テ竹片ヲ執リ其柄ヲ叩キテ節
ヲ按ス他僧皆傘下ニ環舞ス今三府共ニ行ハル
又新家ハ酒樓多シ魚鮮ニシテ酒美ナリ其傍ナ
ル天下茶屋ハ秀吉駕ヲ駐メシ所ナリ故ニ名ト
ス天下ハ舊殿下ニ作ルト云フ紀泉往来ノ客住
吉賽詣ノ徒必此地ヨリス茶店ノ婦女紅裙ヲ着
ケ客ヲ呼フコト頻ナリ又平野ハ郡ノ東ニアリ



治安橋之圖
AJIKAWA.

テ工商群居一ノ繁昌地
ナリ○東成郡ハ東ハ河
内ノ澁川若江茨田ノ三
郡ニ隣リ西北ハ西成郡
ニ界シ南ハ住吉郡ニ接
ス郡ノ半大坂府ニ屬セ
リ阿部野ハ住吉ノ路ニ
中リテ北畠顯家ノ墓ア
リ顯家ハ親房ノ子ニシ
テ初正成義貞等ト共ニ

賊軍ヲ代チ陸奥守トナリ、鎮守府將軍ニ任セラ
ル、賊軍ノ再京師ヲ侵ス、顯家大兵ヲ率ヰテ先鎌
倉ヲ攻メ、美濃ヲ襲ヒ、伊勢ヲ經テ、大和ニ入ル、其
間一勝一敗アリ、延元三年五月又敗兵ヲ收メテ
此地ニ軍ス、高師直來リ襲フ、將軍二十餘騎ト圍
ヲ衝キテ死ス、時ニ年二十一〇西成郡ハ、南ハ住
吉郡ニ界シ、西ハ海ニ臨ミ、北ハ島下豊島二郡ニ
接シ、東ハ東成郡ニ隣ル、此郡モ亦半大坂府ニ屬
セリ、府廳ハ北長柄村ニ豊崎宮ノ舊址アリ、其北
江口村ハ舊港津ナリシト云フ、又府廳ノ西北野

田村ニ紫藤アリ、他ノ老樹ニ絡ヒ、花空中ヨリ垂
ル、其風致最愛スヘシ、古來吉野ノ櫻、高雄ノ楓ト
並ヘ賞セララル、モ亦宜ナリ、○島下郡ハ、東ハ島
上郡ニ界シ、西ハ豊島、能勢ノ二郡ニ接シ、南ハ西
成及河内ノ茨田郡ニ連リ、北ハ丹波ノ桑田郡ニ
界ス、此郡ノ繁華場ヲ茨木トス、商賈四集貿易頗
盛ナリ、其東北太田村ニ繼體天皇ノ陵アリ、三島
藍野陵ト云フ、茶白山ト字ス、天皇諱ハ男大迹應
神天皇五世ノ孫ナリ、又郡山トス、郡山ノ北勝尾
寺ニ光明天皇ノ陵アリ、勝尾寺ノ東谷ト號ス、帝

諱ハ豊仁、後伏見天皇ノ第二子ナリ、又吹田トス、河濱ニ在リテ運輸頗便ナリ、○島上郡ハ東南ハ淀川ヲ帶ヒ、西ハ島下郡ニ界ヒ、北ハ山城、丹波ニ國ニ接ス、高槻城ハ徳川氏ノ時、永井氏ヲ主トス、市街繁華ニシテ、運輸最便ナリ、又市場ハ、富田ナリ、芥川ナリ、富田ノ東三島江村ハ勝景ノ地ナリ、淀川濬々トシテ東北ヨリ来リ、初夏杜宇ノ曉、秋風新雁ノ夕、吟客騷人来リ賞スル者多シ、其傍玉川ハ所謂六玉川ノ一ニシテ能ク古人ノ歌ニ入ル、芥川ノ東櫻井里ハ古驛ナリシカ、今ハ寂々タル

ル一小村トナル、正成其子正行ニ訣別セシ所ナリ、○豊島郡ハ、東ハ島下郡ヲ限リ、西ハ河邊郡ニ隣リ、南ハ西成郡ニ面シ、北ハ能勢郡ヲ背ニス、此郡ノ繁華場ハ麻田、瀬川、池田等ナリ、麻田ハ舊青木氏ノ封地タリ、池田ハ人家櫛比商賈貿易ノ地ニシテ、酒家殊ニ多シ、我國酒ヲ評スル者皆池田伊丹トス、此地是ナリ、池田ノ傍ニ城址アリ、池田勝入信輝ノ居リシ所ナリシト云フ、其東箕面山ニ瀑布アリ、直下十六丈恰モ銀河ノ九天ヨリ落ルカ如シ、此溪間楓樹多シ、秋風ノ候遊人踵ヲ接



シテ至ル○能勢郡ハ、東
 ハ島下郡ニ界シ、西ハ河
 邊郡ニ隣リ、南ハ豊島郡
 ニ面シ、此ハ丹波ノ桑田
 郡ニ連ル、此郡ノ北山脈
 ヲ帶ヒ、余野山邊、宿野栗
 栖、吉村、今西、長谷、上杉等
 ノ城址アリ、又古戰場多
 ク市場ハ地黃町ヲ盛ナ
 リトス、○兵庫縣廳ハ、八

部郡兵庫ノ津ニアリ、此地福原ノ古都ニシテ、海
 陸運輸至便ノ地ナリ、故ニ巨商群集シ、貨物輻輳
 ス慶應三年丁卯五月外國貿易ノ一場トナリシ
 ヲリ益繁華ノ地トナリ、市街行路ノ清潔ナル外
 人居館ノ宏壯ナル、復舊時ノ比ニ非ス、現今我國
 外國貿易ノ繁盛ナルハ、横濱ヲ以テ第一トスト
 雖、碇泊ノ便ナルハ、此地ニ過クル所無シ、港津ノ
 南和田岬ハ、平沙東南ニ斗出シ、頗好風景ノ地ニ
 シテ、碇臺アリ、又燈臺アリ、海濱ニ浴ヒテ西行ス
 ルコト數里須磨ニ至ル、此里ハ古來月明ヲ賞ス

ルノ勝地ニシテ文人墨客此ニ遊フモノ多シ、此地ニ須磨寺アリ、平敦盛ノ遺物ヲ藏ス、若木ノ櫻ト稱スル樹アリテ、武藏坊辨慶為ニ一枝ヲ折ラハ一指ヲ切ラント、禁牌ヲ書セリ、此郡有名ノ古戰場ハ一ノ谷ナリ、源賴朝ノ二弟範賴義經等大舉シテ平氏ヲ攻メ大ニ此ニ戦ヒ、平氏ノ諸將多ク死ス、宗盛、安徳天皇ヲ奉シテ西海ニ入ル、此外ニ湊川アリ、尊氏再九州ノ兵ヲ率ヰテ京師ヲ侵ス、正成、義貞等コレヲ拒キテ、正成遂ニコレニ死ス、此地是ナリ、○菟原郡ハ東ハ武庫郡ニ界シ、西

八部郡ニ隣リ、北ハ有馬郡ヲ帶ヒ、南ハ海ニ面ス、此郡海濱ニ沿ヒテ驛路アリ、行旅来往頻ナルヲ以テ村トシテ酒樓茶亭無キハ無シ、又酒ヲ製スルノ家多シ、東明村ハ新田足利ノ古戰場ニシテ、足利ノ兵義貞ヲ圍ムコト急ナリ、小山田太郎奮戦シテ死ス、義貞因リテ虎口ヲ脱スルコトヲ得タリ、即求女塚ノ地ナリ、又御影村ニ石工多シ、其石ハ武庫山ヨリ産シテ、石質極メテ堅シ、コレヲ御影石ト云フ、即花崗石ナリ、○武庫郡ハ東ハ河邊郡ニ隣リ、西ハ菟原郡ニ接シ、北ハ有馬郡ニ到

リ、南ハ海ニ面ス、西ノ宮ハ、此郡第一ノ繁華場ニ
シテ行旅来往商賣貿易頗盛ナリ、亦酒ヲ製スル
ノ家多シ、此邊ノ水最酒ニ宜シ、故ニ四方ノ酒家
多クハ水ヲ此ニ求ム、水ノ價甚貴シ、里言ニ一井
一户ヲ養フベシト云ヘリ、西ノ宮ノ東成尾村ハ
觀海美景ノ地ニシテ西瓜ヲ産ス、又西ノ宮ノ北
越水村ニ城址アリ、永正年間細川高國ノ所屬ナ
リシカ三好氏コレヲ拔キテ、其主トナリシト云
云フ、○河邊郡ハ、東ハ豊島、能勢二郡ニ隣リ、西ハ
武庫、有馬二郡ニ接シ、南ハ海ニ濱シ、北ハ丹波ニ

界ス、此郡ノ市場ハ、尼ヶ崎、伊丹、小濱、昆陽、神崎等
ナリ、尼ヶ崎ハ郡中第一ノ繁華地ニシテ、城堡アリ、
舊名ハ大覺城、大永年間細川尹賢コレニ居ル、
元龜年間池田信輝ノ所屬トナリ、元和年間戸田
氏ノ得ル所トナル、後松平氏世コレヲ有ス、伊丹
ハ繁華市場ニシテ巨商群居酒ヲ製スルノ家多
シ、其味池田ト並ヒ稱セラル、其傍ニ城址アリ、荒
木村重ノ築ク所ナリ、永錄年間村重、將軍義昭ヲ
奉シ伊丹城ニ據ル、織田氏コレヲ攻メテ城陷ル、
其北多田院ニ源滿仲ノ墓アリ、滿仲ハ清和天皇

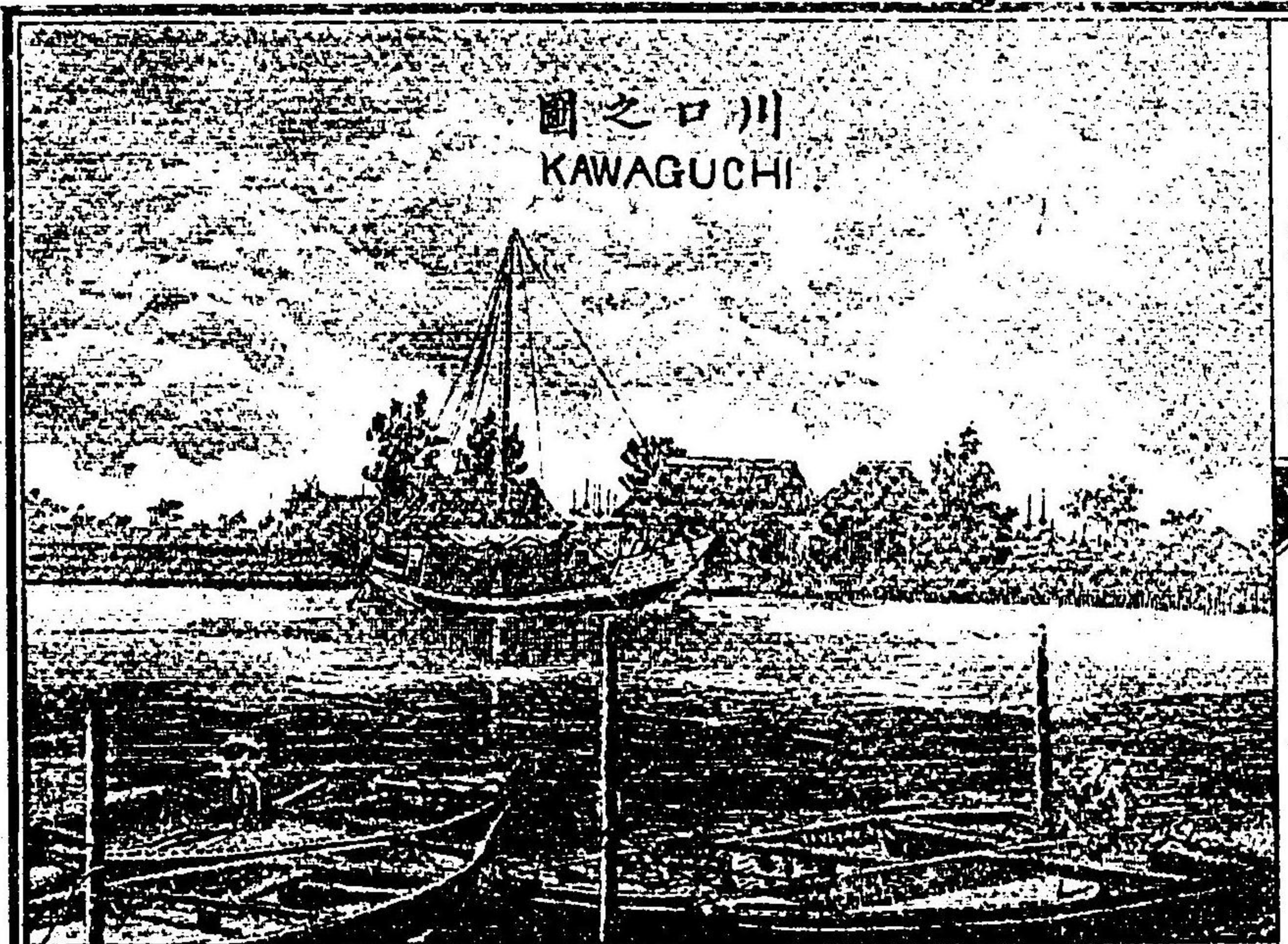
ノ後孫ニシテ六孫王ノ子ナリ、是ヲ源家ノ祖ト
ス、武勇ヲ以テ王家ニ功アリ、後剃髮シテ滿慶ト
號ス、當院ニアリテ卒ス、其傍鼓ヶ瀧ハ古時飛泉
高數十丈ナリシカ、今ハ急流石ニ激シテ白珠ヲ
飛ハスノミ鼓ノ名空シ、小濱ハ旅商輻輳ノ地ニ
シテ神崎ハ古驛ナリ、○有馬郡ハ、南ハ武庫菟原
八部ノ三郡ニ接シ、北ハ丹波ノ多紀郡ニ界シ、東
ハ河邊郡ニ隣リ、西ハ播磨ノ三木加東ノ二郡ニ
連ル、此郡ノ市場ハ三田湯山ヲ最トス、三田ハ舊
九鬼氏ノ封地ニシテ、丹波播磨ノ驛路ナリ、湯山

ハ有馬ノ山間ニシテ温泉アリ、ヨク痼疾ヲ治ス、
故ニ遠近ノ人來リ浴シ、旅亭酒樓頗多シ、又此郡
城址多シ、有馬ノ城址ハ、湯山ニアリ、天文年中三
好宗三コレニ居ル、生瀬ノ城址ハ生瀬村ニアリ、
三木某ノ築ク所ナリト云フ、松原ノ城址ハ道場
川原ニアリテ、松原某コレニ居リシカ、伊丹ノ荒
木氏ニ滅サレト云ヘリ、香下ノ城址ハ、香下村
ニアリ、建武年間赤松氏ノ所屬タリ、松山ノ城址
ハ川除村ニアリ、松山三河守コレニ居リシト云
ス、

山川

川流ノ大ナル者ヲ淀川トス、國ノ東北ヨリ来リ、江口ニ至リ分レテ西ニ流ル、コレヲ神崎川トス、尾崎ニ至リテ海ニ入ル、又長柄ヨリ分流スル者ヲ中津川ト云ス、而シテ、正流ハ大坂城ヲ過キ海ニ入ル、其下流ヲ安治川トス、大坂府ハ古ヨリ河道縱横、溝渠萬條、水患極メテ多シ、天和年間、官大ニ治河ノ役ヲ興シ、隄防ヲ築キ、河道ヲ決シ、人民始メテ魚鼈タルコトヲ免ル、此役ヤ河村瑞賢安治ノ功半ニ居ル、故ニ安治ヲ以テ川ノ名トス、淀

川ハ舊舟楫ヲ上ホスコト甚難カリレカ、近来小漚船ヲ浮ヘテ上下スルコト頃刻ニシテ、達スヘシ故ニ運輸便利ノ河道トナル、又大和川ハ國ノ南境ヲ流ル、其源ハ大和ヨリ發シ、河内和泉ヲ過キテ住吉郡ニ入り、海ニ注ク、此河道ハ、即天和ノ役ニ鑿通セル所ナリ、大和川ハ古河内ヨリ流レテ大坂城ノ東ニ来リ、淀川ニ入ル、又池田川一猪名川ハ其源能勢郡ヨリ来リ、河邊郡ニ入り、多田ノ西ヲ過キ、南流シテ神崎川ニ入ル、又有馬川ハ、其源ヲ有馬郡ノ山間ヨリ發シ、南流シテ海ニ入ル、



其他武庫川、津戸川、蘆屋川、生田川、湊川等アリ、皆武庫、摩耶連山ノ溪澗ヨリ發シテ海ニ入ル、然レトモ平時水ナシ、山峰ノ大ナル者ヲ麻耶山トス、其麓ニ布引瀧アリ、又武庫山トス、山巔ニ神功皇后ヲ祭ル、又鐵桿峰トス、義経ノ一ノ谷ヲ攻ムル

此峰ヨリス、其傍鶴越ハ行路極メテ險ナリ、又鉢伏山トス、再度山トス、甲山トス、有馬山トス、凡ヘテ國ノ西北境ハ、山脉、播磨、丹波ニ連リ、山名屈指ニ暇アラス

港

兵庫港ハ波穏ニ水深クシテ最碇泊ニ便ナリ、故ニ中外ノ賈船帆樯林ノ如ク國內第一ノ良港ト稱セラレ、其他巨船ヲ繫クヘキ場ハ西ノ宮ノ海天保山ノ邊ナリ、

産物

産物ハ酒、油、塩、紙、木綿ノ類ニシテ、又陶器、藤、莖、菅、笠等アリ、菜蔬ハ大根、天王寺蕪、胡蘿蔔、松茸、松露等ナリ、魚鱗ハ鮭、鯛、蝦、望、潮魚、蛤、蜆ノ類ニシテ、又花崗石、豊島石ヲ産スルコト夥ク、河邊有馬、八部能勢ノ諸郡ヨリハ銅ヲ出クセリ、

日本地理全誌卷之五終

明治九年六月十三日版權免許

著述者

湯島雨門町二番地

飯島半十郎

校正人

午込仲町廿一番地

那珂通高

畫

錦町二丁目三番地

宮本三平

出版人

築土八幡町二十八番地

松井惟利

賣捌書林

日本橋通兵服町十二番地

坂上半七

日本橋通二丁目十九番地

稻田佐兵衛

